

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査 集計結果

1. 調査の目的

療養病棟入院基本料等の医療の実態を調査し、診療報酬改定の検討資料とすることを目的とした。

2. 調査対象・調査方法

平成18年度調査の方法を踏襲しつつ、患者分類に基づく包括評価導入に伴う配置職員、患者構成、コストの変動等、医療療養病床の実態の調査を実施した。

調査施設数は、全国の医療療養病床を有する病院及び診療所から原則として無作為抽出を行い、病院700施設、診療所650施設とした。

(1) 施設特性調査

平成21年3月1日時点で療養病棟入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している保険医療機関を対象に、職員配置の変動及び入退院患者数、入退院患者の患者分類区分、入院元・退院先、入退院理由等の入退院患者の状況について調査を実施した。

(2) 患者特性調査

平成21年3月1日時点で施設特性調査を行う医療機関に入院している患者に対し、年齢・入院期間・医療区分等の基本属性や提供されている医療サービスの内容について調査を実施した。

(3) コスト調査

平成20年10月1日時点で療養病棟入院基本料を算定している保険医療機関を対象に、調査対象医療機関の人件費、減価償却費、医薬品費、材料費等の払い出し量等について調査を実施した。

(4) レセプト調査（病院、診療所）

患者特性調査を実施した病院及び有床診療所における療養病棟入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料が算定されている入院患者の平成21年1月診療分の診療報酬明細書を用い、療養病棟入院料A～E等の算定状況、医療区分の該当状況等について調査を実施した。

(5) レセプト調査（国保支払い分）

全国の療養病棟入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料が算定されている入院患者の算定状況を把握するために、国民健康保険からの支払いに係る者のうち約12,500件（平成21年1月診療分）の診療報酬明細書を収集した。

3. 調査結果

平成 20 年度調査における下記の調査について集計を行った。

集計対象数（病院）

調査票	件数	
	平成 20 年度調査	(参考) 平成 18 年度調査
1. 施設特性調査	136 施設	85 施設
2. 患者特性調査	136 施設	85 施設
3. コスト調査	44 施設	69 施設
4. レセプト調査（病院）	66 施設	69 施設
5. レセプト調査（国保支払い分、病院）	12,561 件	115,409 件

集計対象数（診療所）

調査票	件数	
	平成 20 年度調査	(参考) 平成 18 年度調査
1. 施設特性調査	97 施設	—
2. 患者特性調査	96 施設	—
3. レセプト調査（診療所）	640 件	—
4. レセプト調査（国保支払い分、診療所）	935 件	—

（注）平成 18 年度調査では、診療所（109 施設）における患者分類分布の調査のみ実施。

平成 20 年度

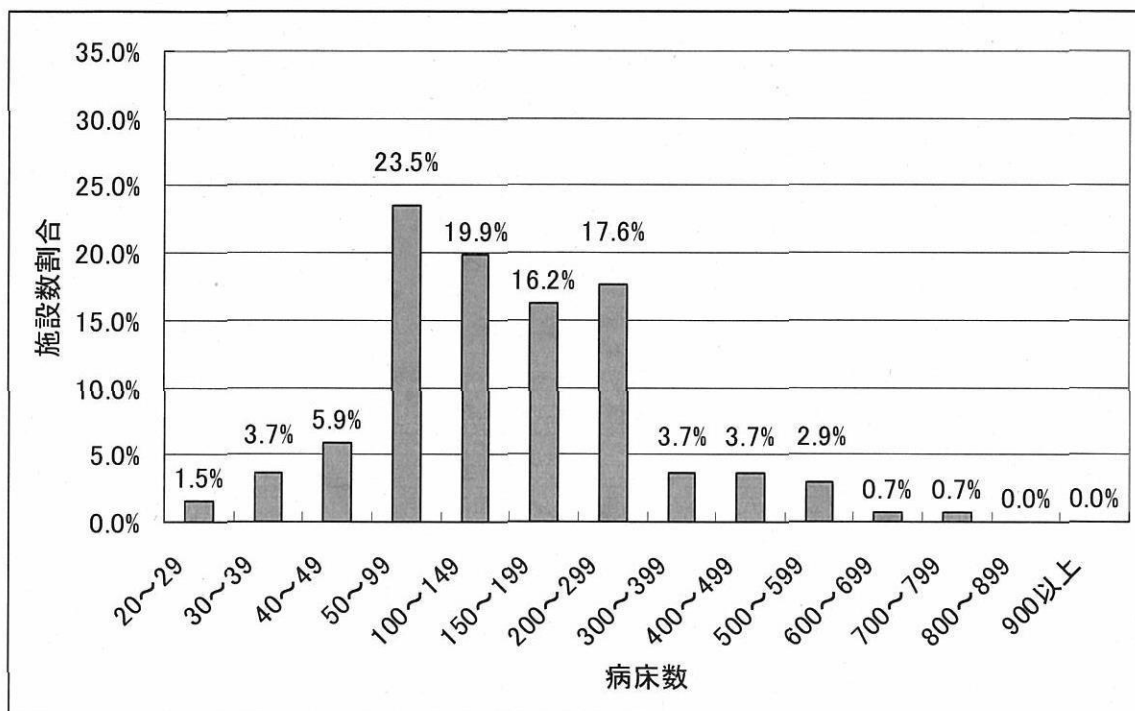
慢性期入院医療の包括評価に関する調査 集計結果

施設特性調査 (病院)

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
《施設特性調査(病院) 集計結果》

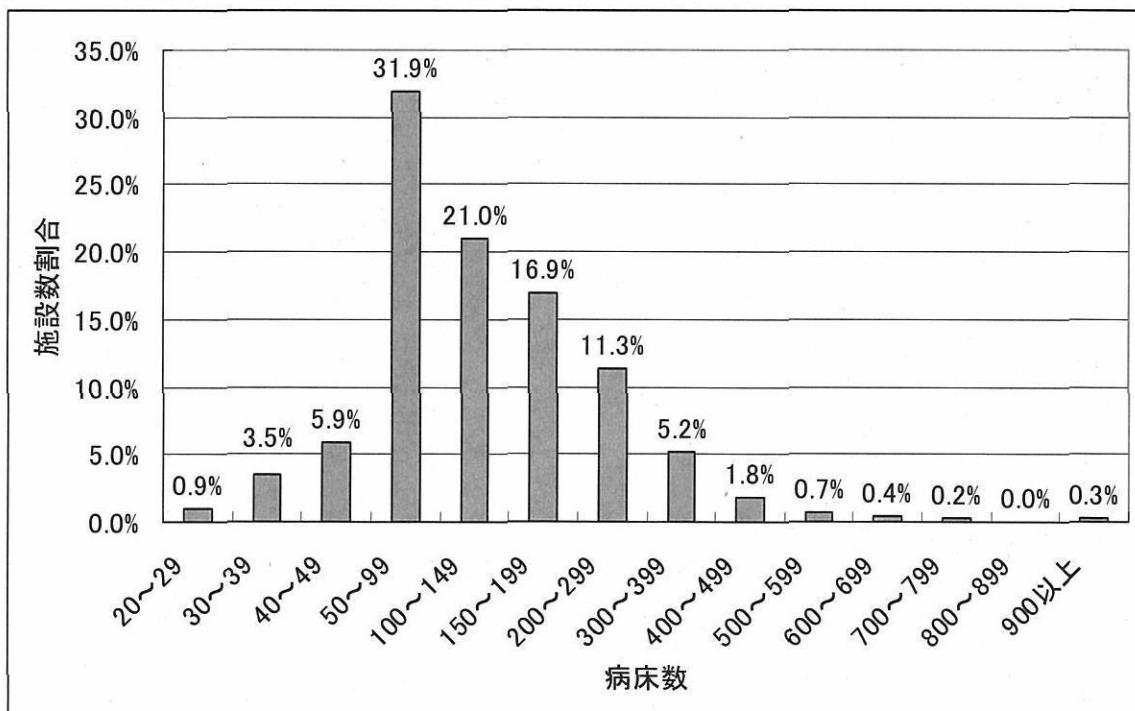
1 基本情報

■施設規模別施設数割合(総病床数)(n=136) [図表1]



(参考)「平成18年医療施設調査(動態調査)病院報告(全国編) 上巻

第9表 病院数、病院一病床の種類・病床の規模別 療養病床を有する病院」より(n=4243)



■承認等の状況別施設数 [図表2]

承認等の状況	施設数
1. 地域医療支援病院	1
2. 病院群輪番制病院	33
3. 在宅療養支援病院	3
4. 地域連携診療計画管理病院	0
5. 地域連携診療計画に記載された連携医療機関	42

■入院基本料等加算施設数(複数回答) [図表3]

項目	施設数
診療録管理体制加算	32
療養病棟療養環境加算 1	78
療養病棟療養環境加算 2	16
療養病棟療養環境加算 3	29
療養病棟療養環境加算 4	9
栄養管理実施加算	123
医療安全対策加算	14

2 病床数の増減状況(136病院)

■医療療養病床の病床数が増減した病院における病床数の変化【図表4】
(平成21年3月と平成20年3月との比較)

	医療療養病床の 病床数が減少した病院		医療療養病床の 病床数が増加した病院	
	病院数	延べ病床数	病院数	延べ病床数
①医療療養病床	12	-275	18	542
②上記のうち 病床数全体純増減分	0	0	3	55
③差し引き(①-②) 病床数全体の増減を除いた医療療養病床の増減数	-	-245	-	487
内訳)一般病床の特殊疾患療養病床	2	111	1	1
内訳)一般病床の障害者施設等入院基本料算定病床	3	62	3	113
内訳)その他一般病床	5	7	9	-139
内訳)療養病床の回復期リハビリテーション病床	7	183	2	-20
内訳)精神病床	0	0	0	0
内訳)医療保険その他	0	0	1	-50
内訳)介護療養病床	3	-100	11	-446
内訳)介護保険その他	1	12	2	54

3 医療療養病棟における職員配置の変化（20年2月→21年2月）

■医療療養病棟における職員1人当たり患者数の変化【図表5】
（20年2月→21年2月）（n=122）

		平成 20 年 2 月	平成 21 年 2 月
看護職員 1 人 当たりの患者数	平均値	15.7	15.4
	中央値	15.7	15.3
	最小値	4.7	5.1
	最大値	33.0	27.5
	標準偏差	4.7	4.3
看護補助者 1 人 当たりの患者数	平均値	15.8	15.6
	中央値	15.7	15.3
	最小値	2.5	4.5
	最大値	31.5	38.0
	標準偏差	4.3	4.4

※2期間において医療療養病棟を有する共通病院(122病院)を集計。

■医療療養病棟における職員1人当たり患者数の変化【図表6】
（18年11月→20年2月→21年2月）（n=22）

		平成 18 年 11 月	平成 20 年 2 月	平成 21 年 2 月
看護職員 1 人 当たりの患者数	平均値	15.3	15.9	15.8
	中央値	15.8	14.9	15.2
	最小値	8.9	6.9	7.0
	最大値	20.4	33.0	23.8
	標準偏差	3.5	4.8	3.5
看護補助者 1 人 当たりの患者数	平均値	15.2	16.9	16.8
	中央値	14.9	17.0	16.3
	最小値	8.5	9.4	8.1
	最大値	24.5	23.5	38.0
	標準偏差	3.6	4.0	5.0

※3期間において、医療療養病棟を有する共通病院(22病院)を集計。

※算出式

看護職員1人当たりの患者数 = 1日平均患者数 / {看護師と准看護師の月延べ勤務時間数(日勤+夜勤) / (月の日数×24時間)}

看護補助者1人当たりの患者数 = 1日平均患者数 / {看護補助者の月延べ勤務時間数(日勤+夜勤) / (月の日数×24時間)}

4 医療療養病棟における入退院患者の構成の変化

■医療療養病棟の入院元別100床当り新入院(転棟)患者数および構成比 [図表7]
(n=129、単位:人) (平成21年2月中)

入院(転棟)元		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	1.66	12.3%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.51	3.8%
	有料老人ホーム等※	0.26	2.0%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.37	2.7%
	介護老人保健施設	0.49	3.6%
	他の医療機関の一般病床	5.28	39.1%
	他の医療機関の医療療養病床	0.31	2.3%
	他の医療機関の介護療養病床	0.03	0.2%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.25	1.9%
	他の医療機関のその他の病床	0.03	0.2%
(再掲) 院外のうち 同一法人内 の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.09	0.7%
	有料老人ホーム等※	0.09	0.7%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.02	0.1%
	介護老人保健施設	0.37	2.7%
	他の医療機関の一般病床	1.46	10.9%
	他の医療機関の医療療養病床	0.06	0.4%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.07	0.5%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床	3.42	25.4%
	自院の回復期リハビリテーション病棟	0.16	1.2%
	自院の亜急性期病床	0.00	0.0%
	自院の特殊疾患病棟(入院医療管理料)	0.00	0.0%
	自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0.29	2.2%
	自院の介護療養病床	0.35	2.6%
	自院のその他の病床	0.07	0.5%
不明		0.04	0.3%
合計		13.52	100.0%

※有料老人ホーム等:グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■一般病床併設あり 医療療養病棟の入院元別100床当り新入院(転棟)患者数 [図表8]
(再掲) (n=63、単位:人)

入院(転棟)元		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	0.51	4.3%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.15	1.3%
	有料老人ホーム等※	0.07	0.6%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.09	0.7%
	介護老人保健施設	0.07	0.6%
	他の医療機関の一般病床	1.76	14.8%
	他の医療機関の医療療養病床	0.18	1.5%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.11	0.9%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
(再掲) 院外のうち 同一法人内 の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.00	0.0%
	有料老人ホーム等※	0.00	0.0%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.02	0.2%
	介護老人保健施設	0.02	0.2%
	他の医療機関の一般病床	0.26	2.2%
	他の医療機関の医療療養病床	0.13	1.1%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.00	0.0%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床	7.74	65.0%
	自院の回復期リハビリテーション病棟	0.35	3.0%
	自院の亜急性期病床	0.00	0.0%
	自院の特殊疾患病棟(入院医療管理料)	0.00	0.0%
	自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0.66	5.6%
	自院の介護療養病床	0.22	1.9%
	自院のその他の病床	0.00	0.0%
不明		0.00	0.0%
合計		11.91	100.0%

※有料老人ホーム等:グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■一般病床併設なし 医療療養病棟の入院元別100床当り新入院(転棟)患者数【図表9】
(再掲) (n=66、単位:人)

入院(転棟)元		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	2.57	17.5%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.79	5.3%
	有料老人ホーム等※	0.42	2.9%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.59	4.0%
	介護老人保健施設	0.82	5.6%
	他の医療機関の一般病床	8.06	54.8%
	他の医療機関の医療療養病床	0.42	2.9%
	他の医療機関の介護療養病床	0.05	0.4%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.37	2.5%
	他の医療機関のその他の病床	0.05	0.4%
(再掲) 院外のうち 同一法人内 の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.16	1.1%
	有料老人ホーム等※	0.16	1.1%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.02	0.1%
	介護老人保健施設	0.65	4.4%
	他の医療機関の一般病床	2.41	16.4%
	他の医療機関の医療療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.12	0.8%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床		
	自院の回復期リハビリテーション病棟		
	自院の亜急性期病床		
	自院の特殊疾患病棟(入院医療管理料)		
	自院の障害者施設等入院基本料算定病棟		
	自院の介護療養病床	0.45	3.1%
	自院のその他の病床	0.12	0.8%
不明		0.07	0.5%
合計		14.73	100.0%

※有料老人ホーム等:グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■医療療養病棟の退院先別100床当り退院(転棟)患者数および構成比 [図表10]
(n=129、単位:人)

退院(転棟)先		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	2.54	18.0%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	1.12	8.0%
	有料老人ホーム等※	0.35	2.5%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.58	4.1%
	介護老人保健施設	1.16	8.2%
	他の医療機関の一般病床	1.86	13.2%
	他の医療機関の医療療養病床	0.20	1.5%
	他の医療機関の介護療養病床	0.03	0.2%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.02	0.1%
	他の医療機関のその他の病床	0.12	0.8%
(再掲) 院外のうち 同一法人内 の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.20	1.5%
	有料老人ホーム等※	0.06	0.4%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.06	0.4%
	介護老人保健施設	0.65	4.6%
	他の医療機関の一般病床	0.51	3.6%
	他の医療機関の医療療養病床	0.04	0.3%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.01	0.1%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床	0.61	4.4%
	自院の回復期リハビリテーション病棟	0.05	0.3%
	自院の亜急性期病床	0.00	0.0%
	自院の特殊疾患病棟(入院医療管理料)	0.00	0.0%
	自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0.05	0.3%
	自院の介護療養病床	0.63	4.5%
	自院のその他の病床	0.05	0.3%
不明		0.05	0.3%
死亡退院		3.15	22.3%
合計		14.10	100.0%

※有料老人ホーム等:グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■一般病床併設あり 医療療養病床の退院先別100床当り退院(転棟)患者数 [図表11]
(再掲) (n=63、単位:人)

退院(転棟)先		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	2.56	22.1%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.66	5.7%
	有料老人ホーム等※	0.31	2.7%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.42	3.6%
	介護老人保健施設	0.97	8.4%
	他の医療機関の一般病床	0.99	8.6%
	他の医療機関の医療療養病床	0.11	1.0%
	他の医療機関の介護療養病床	0.04	0.4%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.00	0.0%
	他の医療機関のその他の病床	0.22	1.9%
(再掲) 院外のうち 同一法人内 の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.13	1.1%
	有料老人ホーム等※	0.07	0.6%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.09	0.8%
	介護老人保健施設	0.42	3.6%
	他の医療機関の一般病床	0.13	1.1%
	他の医療機関の医療療養病床	0.02	0.2%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.00	0.0%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床	1.39	12.0%
	自院の回復期リハビリテーション病棟	0.11	1.0%
	自院の亜急性期病床	0.00	0.0%
	自院の特殊疾患病棟(入院医療管理料)	0.00	0.0%
	自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0.11	1.0%
	自院の介護療養病床	0.37	3.2%
	自院のその他の病床	0.04	0.4%
不明		0.04	0.4%
死亡退院		2.36	20.4%
合計		11.58	100.0%

※有料老人ホーム等:グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■一般病床併設なし 医療療養病棟の退院先別100床当り退院(転棟)患者数 [図表12]
(再掲) (n=66、単位:人)

退院(転棟)先		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	2.52	15.6%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	1.49	9.2%
	有料老人ホーム等※	0.38	2.4%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.70	4.3%
	介護老人保健施設	1.31	8.1%
	他の医療機関の一般病床	2.55	15.9%
	他の医療機関の医療療養病床	0.28	1.7%
	他の医療機関の介護療養病床	0.02	0.1%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.03	0.2%
	他の医療機関のその他の病床	0.03	0.2%
(再掲) 院外のうち 同一法人内 の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.26	1.6%
	有料老人ホーム等※	0.05	0.3%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.03	0.2%
	介護老人保健施設	0.84	5.2%
	他の医療機関の一般病床	0.80	5.0%
	他の医療機関の医療療養病床	0.05	0.3%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.02	0.1%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床		
	自院の回復期リハビリテーション病棟		
	自院の亜急性期病床		
	自院の特殊疾患病棟(入院医療管理料)		
	自院の障害者施設等入院基本料算定病棟		
	自院の介護療養病床	0.84	5.2%
	自院のその他の病床	0.05	0.3%
不明		0.05	0.3%
死亡退院		3.78	23.5%
合計		16.11	100.0%

※有料老人ホーム等:グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■医療療養病棟の入院時点の状態別100床当り新入院(転棟)患者数及び構成比 [図表13]
(n=130、単位:人、%)

	平成 20 年 2 月中			平成 21 年 2 月中		
	入院基本料区分	新入院患者	構成比%	入院基本料区分	新入院患者	構成比%
全体 (n=130)	入院基本料A	4.1	25.4%	入院基本料A (褥瘡評価実施加算あり)	1.8	14.3%
				入院基本料A (褥瘡評価実施加算なし)	1.4	11.1%
	入院基本料B	4.6	28.4%	入院基本料B (褥瘡評価実施加算あり)	1.8	14.2%
				入院基本料B (褥瘡評価実施加算なし)	1.9	15.0%
	入院基本料C (認知機能障害加算あり)	0.3	2.1%	入院基本料C	1.7	13.3%
	入院基本料C (認知機能障害加算なし)	1.7	10.6%			
	入院基本料D	1.2	7.5%	入院基本料D (褥瘡評価実施加算あり)	0.6	4.7%
				入院基本料D (褥瘡評価実施加算なし)	0.5	3.8%
	入院基本料E	4.2	25.9%	入院基本料E	3.0	23.5%
	特別入院基本料	0.0	0.0%	特別入院基本料	0.0	0.1%
	合計	16.2	100.0%	合計	12.6	100.0%
(再掲) 医療区分別 (n=130)	医療区分3	4.1	25.4%	医療区分3	3.2	25.4%
	医療区分2	6.6	41.1%	医療区分2	5.3	42.5%
	医療区分1	5.4	33.5%	医療区分1	4.0	32.0%
	合計	16.2	100.0%	合計	12.6	100.0%

※医療区分と入院基本料A～Eの関係

医療区分	入院基本料
医療区分3	入院基本料A
医療区分2	入院基本料B、C
医療区分1	入院基本料D、E

■医療療養病棟の退院直前の状態別100床当り退院(転棟)患者数及び構成比 [図表14]
(n=130、単位:人、%)

	平成 20 年 2 月中			平成 21 年 2 月中		
	入院基本料区分	退院患者	構成比%	入院基本料区分	退院患者	構成比%
全体 (n=130)	入院基本料A	4.7	32.1%	入院基本料A (褥瘡評価実施加算あり)	2.6	22.2%
				入院基本料A (褥瘡評価実施加算なし)	1.3	11.1%
	入院基本料B	2.9	19.7%	入院基本料B (褥瘡評価実施加算あり)	1.1	9.4%
				入院基本料B (褥瘡評価実施加算なし)	1.3	11.1%
	入院基本料C (認知機能障害加算あり)	0.2	1.7%	入院基本料C	1.2	10.3%
	入院基本料C (認知機能障害加算なし)	1.4	9.4%			
	入院基本料D	1.1	7.3%	入院基本料D (褥瘡評価実施加算あり)	0.6	5.1%
				入院基本料D (褥瘡評価実施加算なし)	0.3	2.6%
	入院基本料E	4.4	29.8%	入院基本料E	3.3	28.2%
	特別入院基本料	0.0	0.0%	特別入院基本料	0.0	0.0%
	合計	14.8	100.0%	合計	11.7	100.0%
(再掲) 医療区分別 (n=130)	医療区分3	4.7	32.1%	医療区分3	3.9	33.3%
	医療区分2	4.5	30.7%	医療区分2	3.5	29.9%
	医療区分1	5.5	37.2%	医療区分1	4.3	36.8%
	合計	14.8	100.0%	合計	11.7	100.0%

※医療区分と入院基本料A～Eの関係

医療区分	入院基本料
医療区分3	入院基本料A
医療区分2	入院基本料B、C
医療区分1	入院基本料D、E

■医療療養病棟の入院経路別100床当り新入院(転棟)患者数 [図表15]
(n=46、単位:人、%)

	平成 21 年 2 月中	
	入院 患者	構成 比%
他院よりの紹介	6.2	50.3%
自院外来からの入院	3.4	27.4%
予定入院	2.0	16.6%
緊急入院	0.6	4.6%
救急車による搬送	0.1	1.1%
計	12.2	100.0%

■医療療養病棟の100床当り入院基本料等算定患者数 [図表16]
(n=103、単位:人)

項目	患者数
在宅患者緊急入院診療加算 1	0.00
在宅患者緊急入院診療加算 2	0.00
乳幼児加算・幼児加算	0.07
HIV感染者療養環境特別加算	0.00
重症皮膚潰瘍管理加算	4.89
褥瘡患者管理加算	5.51
退院調整加算 1(退院支援計画作成加算)	1.25
退院調整加算 2(退院加算)	0.88
後期高齢者外来患者緊急入院診療加算	0.36

平成 20 年度

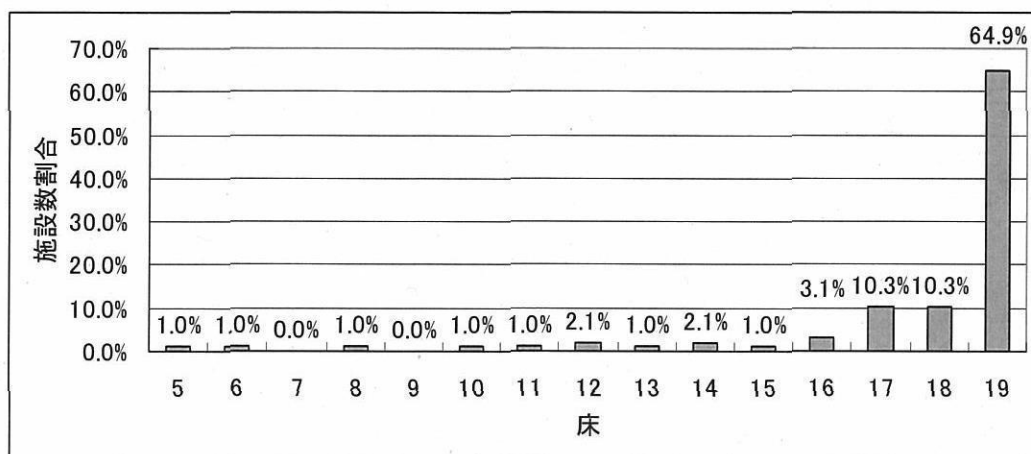
慢性期入院医療の包括評価に関する調査 集計結果

施設特性調査 (診療所)

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
《施設特性調査(診療所) 集計結果》

1 基本情報

■病床数別施設数割合(n=97) [図表1]



■在宅療養支援施設数(n=94) [図表2]

項目	施設数
在宅療養支援施設である	49
在宅療養支援施設でない	45

■入院基本料等加算施設数(複数回答) [図表3]

項目	施設数
診療録管理体制加算	2
診療所療養病床療養環境加算 1	40
診療所療養病床療養環境加算 2	45
栄養管理実施加算	16
医療安全対策加算	6

2 病床数と入院患者数

■医療療養病床の病床数が増減した診療所における病床数の変化 [図表4] (平成 21 年3月と平成 20 年3月との比較)

	医療療養病床の病床数 が減少した診療所		医療療養病床の病床数 が増加した診療所	
	診療所数	延べ病床数	診療所数	延べ病床数
①医療療養病床	2	12	1	6
②上記のうち 病床数全体純増減分	0	0	0	0
③差し引き(①-②) 病床数全体の増減を除いた医療療養病床の増減数	-	12	-	6
内訳)有床診療所入院基本料算定病床	2	12	1	1
内訳)介護療養病床	0	0	1	6

3 医療療養病床における職員配置の変化（20年2月→21年2月）

■医療療養病床における職員1人当たり患者数の変化(20年2月→21年2月) (n=13) [図表5]

		20年2月	21年2月
看護職員1人 当たりの患者数	平均値	8.8	8.1
	中央値	9.6	8.5
	最小値	2.0	2.3
	最大値	16.0	14.9
	標準偏差	3.8	3.4
看護補助者1人 当たりの患者数	平均値	17.8	14.9
	中央値	17.7	14.3
	最小値	7.8	9.0
	最大値	26.7	24.9
	標準偏差	5.9	5.0

※有床診療所療養病床基本料のみを算定している診療所(13施設)の集計。

※算出式

看護職員1人当たりの患者数 = 1日平均患者数 / [看護師と准看護師の月延べ勤務時間数(日勤+夜勤) / (月の日数 × 24時間)]

看護補助者1人当たりの患者数 = 1日平均患者数 / [看護補助者の月延べ勤務時間数(日勤+夜勤) / (月の日数 × 24時間)]

4 有床診療所療養病床基本料を算定している病床の入退院患者の構成の変化

■有床診療所療養病床基本料を算定している病床の入院元別100床当り新入院(転床)患者数
(平成21年2月中)(n=86、単位:人) [図表6]

入院(転床)元		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	10.48	31.8%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	1.38	4.2%
	有料老人ホーム等※	0.58	1.7%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.23	0.7%
	介護老人保健施設	0.81	2.4%
	他の医療機関の一般病床	5.88	17.8%
	他の医療機関の医療療養病床	0.69	2.1%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.12	0.3%
	他の医療機関のその他の病床	0.92	2.8%
(再掲) 院外のうち 同一法人 内の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.00	0.0%
	有料老人ホーム等※	0.23	0.7%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.12	0.3%
	介護老人保健施設	0.69	2.1%
	他の医療機関の一般病床	0.12	0.3%
	他の医療機関の医療療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床	9.56	29.0%
	自院の介護療養病床	0.46	1.4%
不明		1.84	5.6%
合計		32.95	100.0%

※グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■有床診療所療養病床基本料を算定している病床の退院先別100床当り退院(転床)患者数
(平成21年2月中)(n=86、単位:人) [図表7]

退院(転床)元		患者数	構成比
院外	自宅(訪問診療、訪問看護等 なし)	10.25	42.6%
	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	1.84	7.7%
	有料老人ホーム等※	0.69	2.9%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.46	1.9%
	介護老人保健施設	1.50	6.2%
	他の医療機関の一般病床	1.84	7.7%
	他の医療機関の医療療養病床	0.12	0.5%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.00	0.0%
	他の医療機関のその他の病床	0.12	0.5%
(再掲) 院外のうち 同一法人 内の場合	自宅(訪問診療、訪問看護等 あり)	0.46	1.9%
	有料老人ホーム等※	0.00	0.0%
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0.00	0.0%
	介護老人保健施設	0.58	2.4%
	他の医療機関の一般病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の医療療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の介護療養病床	0.00	0.0%
	他の医療機関の回復期リハビリテーション病棟	0.00	0.0%
	他の医療機関のその他の病床	0.00	0.0%
院内	自院の一般病床	2.76	11.5%
	自院の介護療養病床	0.12	0.5%
不明		0.00	0.0%
死亡退院		3.34	13.9%
合計		24.08	100.0%

※グループホーム、ケアハウス(軽費老人ホーム)を含む

■有床診療所療養病床基本料を算定している病床の入院時点の状態別100床当り新入院(転床)患者数及び構成比 [図表8]

(n=39、単位:人、%)

	平成 20 年 2 月中			平成 21 年 2 月中		
	入院基本料区分	患者数	構成比%	入院基本料区分	患者数	構成比%
全体 (n=39)	入院基本料A	2.3	8.0%	入院基本料A (褥瘡評価実施加算あり)	0.3	1.2%
				入院基本料A (褥瘡評価実施加算なし)	1.9	8.1%
	入院基本料B	6.3	21.2%	入院基本料B (褥瘡評価実施加算あり)	1.1	4.7%
				入院基本料B (褥瘡評価実施加算なし)	3.7	16.3%
	入院基本料C (認知機能障害加算あり)	0.5	1.8%	入院基本料C	2.4	10.5%
	入院基本料C (認知機能障害加算なし)	6.3	21.2%			
	入院基本料D	1.8	6.2%	入院基本料D (褥瘡評価実施加算あり)	0.8	3.5%
				入院基本料D (褥瘡評価実施加算なし)	0.5	2.3%
	入院基本料E	12.2	41.6%	入院基本料E	12.2	53.5%
	特別入院基本料	0.0	0.0%	特別入院基本料	0.0	0.0%
	合計	29.4	100.0%	合計	22.8	100.0%
(再掲) 医療区分別 (n=39)	医療区分3	2.3	8.0%	医療区分3	2.1	9.3%
	医療区分2	13.0	44.2%	医療区分2	7.1	31.4%
	医療区分1	14.1	47.8%	医療区分1	13.5	59.3%
	合計	29.4	100.0%	合計	22.8	100.0%

※医療区分と入院基本料A～Eの関係

医療区分	入院基本料
医療区分3	入院基本料A
医療区分2	入院基本料B、C
医療区分1	入院基本料D、E

■有床診療所療養病床基本料を算定している病床の退院直前の状態別100床当り退院(転床)患者数及び構成比 [図表9]

(n=39、単位:人、%)

	平成 20 年 2 月中			平成 21 年 2 月中		
	入院基本料区分	患者数	構成比%	入院基本料区分	患者数	構成比%
全体 (n=39)	入院基本料A	2.1	8.7%	入院基本料A (褥瘡評価実施加算あり)	0.8	4.2%
				入院基本料A (褥瘡評価実施加算なし)	0.8	4.2%
	入院基本料B	3.9	16.3%	入院基本料B (褥瘡評価実施加算あり)	1.3	6.9%
				入院基本料B (褥瘡評価実施加算なし)	2.9	15.3%
	入院基本料C (認知機能障害加算あり)	0.3	1.1%	入院基本料C	1.1	5.6%
	入院基本料C (認知機能障害加算なし)	4.9	20.7%			
	入院基本料D	1.8	7.6%	入院基本料D (褥瘡評価実施加算あり)	0.5	2.8%
				入院基本料D (褥瘡評価実施加算なし)	1.1	5.6%
				入院基本料E	10.6	55.6%
	特別入院基本料	0.0	0.0%	特別入院基本料	0.0	0.0%
	合計	24.0	100.0%	合計	19.0	100.0%
(再掲) 医療区分別 (n=39)	医療区分3	2.1	8.7%	医療区分3	1.6	8.3%
	医療区分2	9.1	38.0%	医療区分2	5.3	27.8%
	医療区分1	12.8	53.3%	医療区分1	12.2	63.9%
	合計	24.0	100.0%	合計	19.0	100.0%

※医療区分と入院基本料A～Eの関係

医療区分	入院基本料
医療区分3	入院基本料A
医療区分2	入院基本料B、C
医療区分1	入院基本料D、E

■医療療養病床の入院経路別100床当り新入院(転床)患者数(n=41、単位:人、%) [図表10]

	平成 21 年 2 月中	
	入院患者	構成 比%
他院よりの紹介	7.06	31.6%
自院外来からの入院	12.53	56.1%
予定入院	2.05	9.2%
緊急入院	0.46	2.0%
救急車による搬送	0.23	1.0%
計	22.32	100.0%

■医療療養病床の100床当り入院基本料等加算算定患者数(n=62、単位:人) [図表11]

項目	患者数
在宅患者緊急入院診療加算	0.00
乳幼児加算・幼児加算	0.33
HIV感染者療養環境特別加算	0.81
重症皮膚潰瘍管理加算	0.81
褥瘡患者管理加算	3.58
退院調整加算1(退院支援計画作成加算)	3.41
後期高齢者外来患者緊急入院診療加算	0.00

平成 20 年度

慢性期入院医療の包括評価に関する調査 集計結果

患者特性調査 (病院)

**平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
《患者特性調査(病院)集計結果(全病院比較)》**

平成 20 年度調査集計対象：平成 20 年度調査対象病院（136 病院）で療養病棟入院基本料を算定している患者

平成 18 年度調査集計対象：平成 18 年度調査対象病院（全 85 病院）の療養病棟入院基本料 2 を算定している患者

（注）本集計における「医療区分」は、患者調査票の回答に基づくものであるため診療報酬上の医療区分と一致しない場合がある。

1 医療区分・ADL区分の状況

■医療区分・ADL 区分 [図表1]

	平成20年度調査				平成18年度調査			
	医療区分1 (n=2,453)	医療区分2 (n=3,826)	医療区分3 (n=1,550)	合 計 (n=7,829)	医療区分1 (n=1,805)	医療区分2 (n=2,726)	医療区分3 (n=1,066)	回答計 (n=5,597)
ADL区分3	10.3%	26.6%	15.0%	51.8%	10.4%	27.9%	15.3%	53.7%
ADL区分2	9.3%	13.3%	3.3%	25.8%	11.2%	12.8%	2.6%	26.7%
ADL区分1	11.8%	9.0%	1.5%	22.4%	10.6%	7.9%	1.1%	19.6%
全 体	31.3%	48.9%	19.8%	100.0%	32.2%	48.7%	19.0%	100.0%
無回答(n)	(45)	(39)	(13)	(97)	(5)	(6)	(0)	(11)

**平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
《患者特性調査(病院)集計結果(共通病院比較)》**

集計対象：平成18年度調査と平成20年度調査の共通病院（24病院）における療養病棟入院基本料を算定している患者

（注）本集計における「医療区分」は、患者調査票の回答に基づくものであるため診療報酬上の医療区分と一致しない場合がある。

1 医療区分・ADL区分の状況

■医療区分・ADL区分 [図表2]

	平成20年度調査				平成18年度調査			
	医療区分1 (n=492)	医療区分2 (n=960)	医療区分3 (n=477)	合 計 (n=1,929)	医療区分1 (n=770)	医療区分2 (n=1,240)	医療区分3 (n=532)	回答計 (n=2,542)
ADL区分3	9.7%	28.1%	19.0%	56.9%	10.9%	29.0%	17.0%	56.9%
ADL区分2	7.4%	13.8%	4.0%	25.2%	10.0%	13.0%	2.8%	25.7%
ADL区分1	8.3%	7.8%	1.7%	17.9%	9.4%	6.7%	1.2%	17.4%
全 体	25.5%	49.8%	24.7%	100.0%	30.3%	48.8%	20.9%	100.0%
無回答(n)	(4)	(1)	(2)	(7)	(1)	(3)	(0)	(4)

2 医療区分採用項目の該当状況

■医療区分採用項目【図表3】

	平成20年度調査				平成18年度調査			
	医療区分1 (n=2,498)	医療区分2 (n=3,865)	医療区分3 (n=1,563)	合 計 (n=7,926)	医療区分1 (n=1,810)	医療区分2 (n=2,732)	医療区分3 (n=1,066)	回答計 (n=5,608)
1. 24時間持続して点滴を実施	0.0%	0.0%	41.1%	8.1%	0.0%	0.0%	49.3%	9.4%
2. 尿路感染症に対する治療	0.0%	12.2%	13.8%	8.6%	0.0%	10.7%	11.0%	7.3%
3. 傷病等によりリハビリテーションを必要とする状態	0.0%	3.6%	2.0%	2.1%	0.0%	3.8%	2.0%	2.2%
4. 脱水に対する治療	0.0%	6.4%	13.8%	5.9%	0.0%	6.8%	12.1%	5.6%
(4. 脱水に対する治療[×発熱])	0.0%	1.7%	8.7%	2.5%	0.0%	2.0%	6.7%	2.2%
(4. 脱水に対する治療[×発熱38度以上])	0.0%	0.6%	5.2%	1.3%				
5. 消化管等の体内から出血が反復継続している状態	0.0%	0.7%	2.5%	0.8%	0.0%	1.1%	2.9%	1.1%
6. 頻回の嘔吐に対する治療	0.0%	0.4%	1.4%	0.5%	0.0%	0.7%	1.4%	0.6%
(6. 頻回の嘔吐に対する治療[×発熱])	0.0%	0.1%	0.6%	0.2%	0.0%	0.3%	0.9%	0.3%
(6. 頻回の嘔吐に対する治療[×発熱38度以上])	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%				
7. せん妄に対する治療	0.0%	2.9%	2.3%	1.9%	0.0%	2.2%	2.5%	1.5%
8. 経鼻胃管・胃腸等の経腸栄養が行われ、発熱又は嘔吐を伴う状態	0.0%	6.9%	19.9%	7.3%	0.0%	10.2%	22.7%	9.3%
9. 頻回の血糖検査を実施(1日3回以上)	0.0%	13.3%	10.2%	8.5%	0.0%	7.9%	6.0%	5.0%
10. スモンに罹患	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%
12. 医師及び看護師により、常時、監視・管理を実施	0.0%	0.0%	5.4%	1.1%	0.0%	0.0%	5.9%	1.1%
13. 中心静脈栄養を実施	0.0%	0.0%	25.6%	5.0%	0.0%	0.0%	34.1%	6.5%
14. 人工呼吸器を使用	0.0%	0.0%	6.0%	1.2%	0.0%	0.0%	5.8%	1.1%
15. ドレーン法・胸腔腔の洗浄	0.0%	0.0%	1.3%	0.3%	0.0%	0.0%	1.0%	0.2%
16. 気管切開・気管内挿管の実施が行われ、発熱を伴う状態	0.0%	0.0%	11.1%	2.2%	0.0%	0.0%	14.5%	2.8%
(16. 気管切開・気管内挿管の実施[×発熱38度以上])	0.0%	0.0%	5.4%	1.1%				
17. 酸素療法の実施	0.0%	0.0%	52.8%	10.4%	0.0%	0.0%	44.6%	8.5%
18. 感染隔離室での管理を実施	0.0%	0.0%	8.3%	1.6%	0.0%	0.0%	7.5%	1.4%
19・21筋ジストロフィー症・筋萎縮性側索硬化症に罹患	0.0%	2.8%	2.0%	1.7%	0.0%	3.8%	3.3%	2.5%
20. 多発性硬化症に罹患	0.0%	0.5%	0.1%	0.2%	0.0%	0.5%	0.3%	0.3%
22. パーキンソン病関連疾患に罹患	0.0%	13.7%	6.5%	7.9%	0.0%	15.6%	7.2%	9.0%
23. その他の難病に罹患	0.0%	1.3%	0.7%	0.8%	0.0%	3.2%	1.1%	1.8%
24. 脊髄損傷(頸椎損傷を原因とする麻痺が四肢すべてに認められる)	0.0%	0.9%	0.6%	0.6%	0.0%	1.5%	0.3%	0.8%
25. 慢性閉塞性肺疾患(ヒュー・ジョーンズの分類がⅤ度以上)	0.0%	1.5%	6.1%	1.9%	0.0%	1.7%	5.9%	1.9%
26. 透析を実施	0.0%	5.5%	1.0%	2.9%	0.0%	3.8%	0.3%	1.9%
29. 悪性腫瘍(疼痛コントロールが必要な場合に限る)	0.0%	1.0%	1.7%	0.8%	0.0%	1.0%	1.7%	0.8%
30. 肺炎に対する治療	0.0%	10.7%	22.6%	9.7%	0.0%	9.6%	24.0%	9.2%
31. 褥瘡に対する治療(2度以上または2箇所以上)	0.0%	4.9%	6.2%	3.6%	0.0%	5.2%	7.6%	4.0%
32. 末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療	0.0%	1.8%	1.2%	1.1%	0.0%	1.3%	1.1%	0.9%
33. うつ症状に対する治療	0.0%	13.6%	4.7%	7.6%	0.0%	13.2%	4.0%	7.2%
34. 他者に対する暴行が毎日認められる状態	0.0%	2.7%	1.1%	1.5%	0.0%	3.1%	1.1%	1.7%
35. 1日8回以上の喀痰吸引を実施	0.0%	28.0%	48.4%	23.2%	0.0%	28.6%	47.2%	22.9%
36. 気管切開・気管内挿管の実施(発熱を伴う場合を除く)	0.0%	10.4%	21.2%	9.2%	0.0%	10.4%	23.7%	9.6%
37. 創傷、皮膚潰瘍、下腿、足部の蜂巣炎、膿等の感染症に対する治療	0.0%	17.9%	20.0%	12.7%	0.0%	21.0%	20.4%	14.1%

2 医療区分採用項目の該当状況

■医療区分採用項目 [図表4]

	平成20年度調査					平成18年度調査			
	医療区分1 (n=496)	医療区分2 (n=961)	医療区分3 (n=479)	合 計 (n=1,936)		医療区分1 (n=771)	医療区分2 (n=1,243)	医療区分3 (n=532)	回答計 (n=2,546)
1. 24時間持続して点滴を実施	0.0%	0.0%	42.0%	10.4%		0.0%	0.0%	50.2%	10.5%
2. 尿路感染症に対する治療	0.0%	15.6%	20.9%	12.9%	↑	0.0%	11.8%	11.5%	8.2%
3. 傷病等によりリハビリテーションを必要とする状態	0.0%	5.1%	5.4%	3.9%		0.0%	3.8%	3.2%	2.5%
4. 脱水に対する治療	0.0%	9.9%	20.9%	10.1%		0.0%	10.0%	15.0%	8.0%
(4. 脱水に対する治療[×発熱])	0.0%	2.7%	15.7%	5.2%		0.0%	3.5%	9.0%	3.6%
(4. 脱水に対する治療[×発熱38度以上])	0.0%	1.0%	8.8%	2.7%					
5. 消化管等の体内から出血が反復継続している状態	0.0%	1.1%	1.5%	0.9%		0.0%	1.0%	2.6%	1.1%
6. 頻回の嘔吐に対する治療	0.0%	0.6%	1.3%	0.6%		0.0%	0.6%	1.5%	0.6%
(6. 頻回の嘔吐に対する治療[×発熱])	0.0%	0.2%	1.0%	0.4%		0.0%	0.2%	0.9%	0.3%
(6. 頻回の嘔吐に対する治療[×発熱38度以上])	0.0%	0.0%	1.0%	0.3%					
7. せん妄に対する治療	0.0%	1.9%	2.5%	1.5%		0.0%	2.3%	1.9%	1.5%
8. 経鼻胃管・胃瘻等の経腸栄養が行われ、発熱又は嘔吐を伴う状態	0.0%	12.1%	34.0%	14.4%	↑	0.0%	11.3%	26.9%	11.1%
9. 頻回の血糖検査を実施(1日3回以上)	0.0%	17.4%	16.1%	12.6%	↑	0.0%	7.7%	7.5%	5.3%
10. スモンに罹患	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%		0.0%	0.0%	0.8%	0.2%
12. 医師及び看護師により、常時、監視・管理を実施	0.0%	0.0%	4.0%	1.0%		0.0%	0.0%	6.2%	1.3%
13. 中心静脈栄養を実施	0.0%	0.0%	27.6%	6.8%		0.0%	0.0%	32.0%	6.7%
14. 人工呼吸器を使用	0.0%	0.0%	8.8%	2.2%		0.0%	0.0%	8.5%	1.8%
15. ドレーン法・胸腹腔の洗浄	0.0%	0.0%	1.7%	0.4%		0.0%	0.0%	0.6%	0.1%
16. 気管切開・気管内挿管の実施が行われ、発熱を伴う状態	0.0%	0.0%	20.9%	5.2%		0.0%	0.0%	16.0%	3.3%
(16. 気管切開・気管内挿管の実施[×発熱38度以上])	0.0%	0.0%	9.2%	2.3%					
17. 酸素療法の実施	0.0%	0.0%	48.6%	12.0%		0.0%	0.0%	46.4%	9.7%
18. 感染隔離室での管理を実施	0.0%	0.0%	9.8%	2.4%		0.0%	0.0%	6.8%	1.4%
19・21筋ジストロフィー症・筋萎縮性側索硬化症に罹患	0.0%	2.9%	1.0%	1.7%		0.0%	3.6%	3.6%	2.5%
20. 多発性硬化症に罹患	0.0%	0.9%	0.0%	0.5%		0.0%	0.6%	0.2%	0.3%
22. パーキンソン病関連疾患に罹患	0.0%	14.8%	6.1%	8.8%		0.0%	16.7%	8.3%	9.9%
23. その他の難病に罹患	0.0%	2.4%	0.6%	1.3%		0.0%	4.9%	1.3%	2.7%
24. 脊髄損傷(頸椎損傷を原因とする麻痺が四肢すべてに認められる)	0.0%	1.6%	0.6%	0.9%		0.0%	2.2%	0.2%	1.1%
25. 慢性閉塞性肺疾患(ヒュー・ジョーンズの分類がⅤ度以上)	0.0%	1.0%	7.1%	2.3%		0.0%	1.6%	4.5%	1.7%
26. 透析を実施	0.0%	0.7%	0.2%	0.4%		0.0%	2.3%	0.0%	1.1%
29. 悪性腫瘍(疼痛コントロールが必要な場合に限る)	0.0%	2.0%	1.3%	1.3%		0.0%	0.8%	0.9%	0.6%
30. 肺炎に対する治療	0.0%	9.9%	20.5%	10.0%		0.0%	11.3%	21.6%	10.1%
31. 褥瘡に対する治療(2度以上または2箇所以上)	0.0%	2.8%	4.2%	2.4%		0.0%	4.1%	5.8%	3.2%
32. 末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療	0.0%	1.1%	0.8%	0.8%		0.0%	0.9%	0.8%	0.6%
33. うつ症状に対する治療	0.0%	8.6%	4.2%	5.3%		0.0%	9.1%	3.4%	5.1%
34. 他者に対する暴行が毎日認められる状態	0.0%	2.8%	0.8%	1.6%		0.0%	2.2%	1.1%	1.3%
35. 1日8回以上の喀痰吸引を実施	0.0%	28.2%	55.1%	27.6%		0.0%	30.6%	51.5%	25.7%
36. 気管切開・気管内挿管の実施(発熱を伴う場合を除く)	0.0%	11.6%	31.9%	13.6%		0.0%	12.0%	26.9%	11.5%
37. 創傷、皮膚潰瘍、下腿、足部の蜂巣炎、膿等の感染症に対する治療	0.0%	19.5%	24.0%	15.6%		0.0%	17.6%	19.0%	12.6%

3 入退院の状況

■調査病棟に入院する前の状況【図表5】

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	386	15.5%	417	10.8%	112	7.2%	915	11.5%
2. 有料老人ホーム等	43	1.7%	71	1.8%	24	1.5%	138	1.7%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	22	0.9%	55	1.4%	39	2.5%	116	1.5%
4. 介護老人保健施設	64	2.6%	141	3.6%	67	4.3%	272	3.4%
5. 他の医療機関	995	39.8%	1,746	45.2%	807	51.6%	3,548	44.8%
(再掲)他の医療機関の一般病床	922	36.9%	1,592	41.2%	759	48.6%	3,273	41.3%
(再掲)他の医療機関の療養病床	51	2.0%	116	3.0%	37	2.4%	204	2.6%
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	22	0.9%	38	1.0%	11	0.7%	71	0.9%
6. 自院の他の病床	893	35.7%	1,308	33.8%	474	30.3%	2,675	33.7%
(再掲)自院の一般病床(転棟)	683	27.3%	923	23.9%	310	19.8%	1,916	24.2%
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等)(転棟)	210	8.4%	385	10.0%	164	10.5%	759	9.6%
無回答	95	3.8%	127	3.3%	40	2.6%	262	3.3%
全 体	2,498	100.0%	3,865	100.0%	1,563	100.0%	7,926	100.0%

(注)平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	187	10.3%	243	8.9%	72	6.8%	502	9.0%
2. 有料老人ホーム等	13	0.7%	26	1.0%	10	0.9%	49	0.9%
グループホーム	3	0.2%	8	0.3%	5	0.5%	16	0.3%
有料老人ホーム	7	0.4%	13	0.5%	3	0.3%	23	0.4%
ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	3	0.2%	5	0.2%	2	0.2%	10	0.2%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	17	0.9%	67	2.5%	32	3.0%	116	2.1%
4. 介護老人保健施設	78	4.3%	117	4.3%	65	6.1%	260	4.6%
5. 他の医療機関	869	48.0%	1,265	46.3%	446	41.8%	2,580	46.0%
(再掲)他の医療機関の一般病床	747	41.3%	1,120	41.0%	414	38.8%	2,281	40.7%
(再掲)他の医療機関の療養病床	106	5.9%	116	4.2%	28	2.6%	250	4.5%
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	16	0.9%	29	1.1%	4	0.4%	49	0.9%
6. 自院の他の病床	628	34.7%	972	35.6%	419	39.3%	2,019	36.0%
(再掲)自院の一般病床(転棟)	421	23.3%	654	23.9%	270	25.3%	1,345	24.0%
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等)(転棟)	207	11.4%	318	11.6%	149	14.0%	674	12.0%
7. わからない	7	0.4%	7	0.3%	7	0.7%	21	0.4%
無回答	11	0.6%	35	1.3%	15	1.4%	61	1.1%
全 体	1,810	100.0%	2,732	100.0%	1,066	100.0%	5,608	100.0%

3 入退院の状況

■調査病棟に入院する前の状況 [図表6]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	29	5.8%	69	7.2%	32	6.7%	130	6.7%
2. 有料老人ホーム等	4	0.8%	8	0.8%	3	0.6%	15	0.8%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4	0.8%	20	2.1%	8	1.7%	32	1.7%
4. 介護老人保健施設	22	4.4%	45	4.7%	16	3.3%	83	4.3%
5. 他の医療機関	198	39.9%	402	41.8%	208	43.4%	808	41.7%
(再掲)他の医療機関の一般病床	181	36.5%	375	39.0%	192	40.1%	748	38.6%
(再掲)他の医療機関の療養病床	14	2.8%	23	2.4%	14	2.9%	51	2.6%
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	3	0.6%	4	0.4%	2	0.4%	9	0.5%
6. 自院の他の病床	230	46.4%	413	43.0%	208	43.4%	851	44.0%
(再掲)自院の一般病床(転棟)	142	28.6%	234	24.3%	125	26.1%	501	25.9%
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等)(転棟)	88	17.7%	179	18.6%	83	17.3%	350	18.1%
無回答	9	1.8%	4	0.4%	4	0.8%	17	0.9%
全 体	496	100.0%	961	100.0%	479	100.0%	1,936	100.0%

(注)平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	54	7.0%	94	7.6%	34	6.4%	182	7.1%
2. 有料老人ホーム等	1	0.1%	10	0.8%	4	0.8%	15	0.6%
グループホーム	0	0.0%	2	0.2%	2	0.4%	4	0.2%
有料老人ホーム	0	0.0%	6	0.5%	1	0.2%	7	0.3%
ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	1	0.1%	2	0.2%	1	0.2%	4	0.2%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	9	1.2%	41	3.3%	19	3.6%	69	2.7%
4. 介護老人保健施設	31	4.0%	53	4.3%	42	7.9%	126	4.9%
5. 他の医療機関	416	54.0%	672	54.1%	241	45.3%	1,329	52.2%
(再掲)他の医療機関の一般病床	377	48.9%	607	48.8%	225	42.3%	1,209	47.5%
(再掲)他の医療機関の療養病床	35	4.5%	53	4.3%	14	2.6%	102	4.0%
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	4	0.5%	12	1.0%	2	0.4%	18	0.7%
6. 自院の他の病床	258	33.5%	369	29.7%	188	35.3%	815	32.0%
(再掲)自院の一般病床(転棟)	131	17.0%	190	15.3%	76	14.3%	397	15.6%
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等)(転棟)	127	16.5%	179	14.4%	112	21.1%	418	16.4%
7. わからない	2	0.3%	2	0.2%	4	0.8%	8	0.3%
無回答	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%	2	0.1%
全 体	771	100.0%	1,243	100.0%	532	100.0%	2,546	100.0%

■調査病棟に入院した背景(複数回答) [図表7]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
疾病の急性期状態が安定したため	1,260	50.4%	2,295	59.4%	980	62.7%	4,535	57.2% ↓
疾病の急性増悪	129	5.2%	302	7.8%	172	11.0%	603	7.6%
継続的な高度の医療管理が必要	101	4.0%	493	12.8%	430	27.5%	1,024	12.9% ↓
継続的なリハビリが必要	1,036	41.5%	1,488	38.5%	515	32.9%	3,039	38.3%
他施設の空きがない	284	11.4%	283	7.3%	32	2.0%	599	7.6%
介護老人保健施設でも対応できるが、空きがないため	199	8.0%	191	4.9%	22	1.4%	412	5.2%
介護老人福祉施設(特養)でも対応できるが、空きがないため	158	6.3%	172	4.5%	20	1.3%	350	4.4%
在宅療養でも対応できるが、家族の受け入れ体制が整わないため	491	19.7%	579	15.0%	118	7.5%	1,188	15.0% ↓
本人、家族等が希望するため	1,136	45.5%	1,704	44.1%	604	38.6%	3,444	43.5% ↓
疾病の急性発症<新規>	153	6.1%	166	4.3%	69	4.4%	388	4.9%
その他	187	7.5%	168	4.3%	42	2.7%	397	5.0%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
急性期状態が安定	1,161	64.1%	1,760	64.4%	649	60.9%	3,570	63.7%
疾病の急性増悪	121	6.7%	234	8.6%	196	18.4%	551	9.8%
継続的・高度医療管理が必要	142	7.8%	508	18.6%	374	35.1%	1,024	18.3%
継続的なリハビリが必要	850	47.0%	1,081	39.6%	308	28.9%	2,239	39.9%
他施設の空きがない	203	11.2%	230	8.4%	42	3.9%	475	8.5%
自宅の体制が整わない	399	22.0%	524	19.2%	95	8.9%	1,018	18.2%
本人、家族等が希望	868	48.0%	1,362	49.9%	452	42.4%	2,682	47.8%

■調査病棟に入院した背景(複数回答) [図表8]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
疾病の急性期状態が安定したため	280	56.5%	600	62.4%	320	66.8%	1,200	62.0%
疾病の急性増悪	19	3.8%	58	6.0%	33	6.9%	110	5.7% ↓
継続的な高度の医療管理が必要	23	4.6%	128	13.3%	172	35.9%	323	16.7% ↓
継続的なリハビリが必要	327	65.9%	595	61.9%	268	55.9%	1,190	61.5% ↑
他施設の空きがない	52	10.5%	48	5.0%	9	1.9%	109	5.6%
介護老人保健施設でも対応できるが、空きがないため	35	7.1%	32	3.3%	6	1.3%	73	3.8%
介護老人福祉施設(特養)でも対応できるが、空きがないため	25	5.0%	26	2.7%	6	1.3%	57	2.9%
在宅療養でも対応できるが、家族の受け入れ体制が整わないため	86	17.3%	122	12.7%	23	4.8%	231	11.9% ↓
本人、家族等が希望するため	213	42.9%	390	40.6%	149	31.1%	752	38.8% ↓
疾病の急性発症<新規>	29	5.8%	51	5.3%	18	3.8%	98	5.1%
その他	8	1.6%	23	2.4%	8	1.7%	39	2.0%

(注)平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
急性期状態が安定	492	63.8%	761	61.2%	289	54.3%	1,542	60.6%
疾病の急性増悪	39	5.1%	122	9.8%	113	21.2%	274	10.8%
継続的・高度医療管理が必要	67	8.7%	260	20.9%	188	35.3%	515	20.2%
継続的なリハビリが必要	435	56.4%	607	48.8%	218	41.0%	1,260	49.5%
他施設の空きがない	79	10.2%	67	5.4%	18	3.4%	164	6.4%
自宅の体制が整わない	154	20.0%	187	15.0%	44	8.3%	385	15.1%
本人、家族等が希望	321	41.6%	563	45.3%	190	35.7%	1,074	42.2%

■退院の見通し【図表9】

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
治癒または軽快して30日以内に退院できる見通し	299	12.0%	175	4.5%	20	1.3%	494	6.2%
治癒または軽快して90日以内に退院できる見通し	194	7.8%	150	3.9%	28	1.8%	372	4.7%
治癒または軽快して90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	789	31.6%	1,052	27.2%	209	13.4%	2,050	25.9%
治癒または軽快する見込みはなく、転院・転棟・死亡する見通し	232	9.3%	589	15.2%	324	20.7%	1,145	14.4%
退院(転院・転棟含む)の見通しはない	852	34.1%	1,827	47.3%	953	61.0%	3,632	45.8%
無回答	132	5.3%	72	1.9%	29	1.9%	233	2.9%
全 体	2,498	100.0%	3,865	100.0%	1,563	100.0%	7,926	100.0%

※平成20年度と平成18年度では項目の表現が変わっているため、数値比較無し

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
90日以内に退院できる見通し	283	15.6%	243	8.9%	30	2.8%	556	9.9%
90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	673	37.2%	803	29.4%	164	15.4%	1,640	29.2%
悪化して転院・転棟・死亡する見通し	43	2.4%	69	2.5%	139	13.0%	251	4.5%
退院(転院・転棟)の見通しはない	808	44.6%	1,614	59.1%	731	68.6%	3,153	56.2%
無回答	3	0.2%	3	0.1%	2	0.2%	8	0.1%
全 体	1,810	100.0%	2,732	100.0%	1,066	100.0%	5,608	100.0%

■退院の見通し [図表10]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
治癒または軽快して30日以内に退院できる見通し	57	11.5%	56	5.8%	7	1.5%	120	6.2%
治癒または軽快して90日以内に退院できる見通し	32	6.5%	40	4.2%	14	2.9%	86	4.4%
治癒または軽快して90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	175	35.3%	278	28.9%	85	17.7%	538	27.8%
治癒または軽快する見込みはなく、転院・転棟・死亡する見通し	65	13.1%	125	13.0%	77	16.1%	267	13.8%
退院(転院・転棟含む)の見通しはない	163	32.9%	456	47.5%	293	61.2%	912	47.1%
無回答	4	0.8%	6	0.6%	3	0.6%	13	0.7%
全 体	496	100.0%	961	100.0%	479	100.0%	1,936	100.0%

※平成20年度と平成18年度では項目の表現が変わっているため、数値比較無し

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
90日以内に退院できる見通し	97	12.6%	94	7.6%	14	2.6%	205	8.1%
90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	289	37.5%	330	26.5%	83	15.6%	702	27.6%
悪化して転院・転棟・死亡する見通し	15	1.9%	19	1.5%	51	9.6%	85	3.3%
退院(転院・転棟)の見通しはない	370	48.0%	800	64.4%	384	72.2%	1,554	61.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全 体	771	100.0%	1,243	100.0%	532	100.0%	2,546	100.0%

■退院先の見通し(再掲) [図表11]

(退院の見通しで「90 日以内に退院できる見通し」の回答者)

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=493)		医療区分2 (n=325)		医療区分3 (n=48)		全 体 (n=866)	
1. 自宅(家族との同居を含む)	338	68.6%	183	56.3%	24	50.0%	545	62.9% ↑
2. 有料老人ホーム等	29	5.9%	18	5.5%	3	6.3%	50	5.8%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	28	5.7%	30	9.2%	5	10.4%	63	7.3% ↓
4. 介護老人保健施設	64	13.0%	61	18.8%	7	14.6%	132	15.2% ↓
5. 他の医療機関の一般病床	2	0.4%	3	0.9%	0	0.0%	5	0.6%
6. 他の医療機関の療養病床	23	4.7%	23	7.1%	4	8.3%	50	5.8%
7. 他の医療機関のその他の病床	1	0.2%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	1	0.1%
9. 自院の介護療養病床<新規>	1	0.2%	2	0.6%	1	2.1%	4	0.5%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院のその他の病床	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
12. その他	4	0.8%	3	0.9%	0	0.0%	7	0.8%
無回答	2	0.4%	1	0.3%	3	6.3%	6	0.7%
全 体	493	100.0%	325	100.0%	48	100.0%	866	100.0%

※「治療または軽快して30日以内に退院できる見通し」と「治療または軽快して90日以内に退院できる見通し」を合わせた患者数

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=283)		医療区分2 (n=243)		医療区分3 (n=30)		回答計 (n=556)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	131	46.3%	115	47.3%	7	23.3%	253	45.5%
2. 有料老人ホーム等	13	4.6%	15	6.2%	1	3.3%	29	5.2%
グループホーム	10	3.5%	2	0.8%	0	0.0%	12	2.2%
有料老人ホーム	2	0.7%	8	3.3%	0	0.0%	10	1.8%
ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	1	0.4%	5	2.1%	1	3.3%	7	1.3%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	26	9.2%	46	18.9%	10	33.3%	82	14.7%
4. 介護老人保健施設	80	28.3%	35	14.4%	10	33.3%	125	22.5%
5. 他の医療機関の一般病床	11	3.9%	4	1.6%	0	0.0%	15	2.7%
6. 他の医療機関の療養病床	13	4.6%	18	7.4%	1	3.3%	32	5.8%
7. 他の医療機関のその他の病床	2	0.7%	5	2.1%	1	3.3%	8	1.4%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
11. 自院のその他の病床	3	1.1%	1	0.4%	0	0.0%	4	0.7%
12. その他	3	1.1%	2	0.8%	0	0.0%	5	0.9%
無回答	1	0.4%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.4%
全 体	283	100.0%	243	100.0%	30	100.0%	556	100.0%

■退院先の見通し(再掲) [図表12]

(退院の見通しで「90 日以内に退院できる見通し」の回答者)

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=89)		医療区分2 (n=96)		医療区分3 (n=21)		全 体 (n=206)	
1. 自宅(家族との同居を含む)	53	59.6%	42	43.8%	7	33.3%	102	49.5% ↑
2. 有料老人ホーム等	5	5.6%	4	4.2%	1	4.8%	10	4.9%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	7	7.9%	6	6.3%	4	19.0%	17	8.3% ↓
4. 介護老人保健施設	17	19.1%	34	35.4%	4	19.0%	55	26.7% ↑
5. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6. 他の医療機関の療養病床	5	5.6%	8	8.3%	3	14.3%	16	7.8%
7. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.5%
9. 自院の介護療養病床<新規>	0	0.0%	1	1.0%	1	4.8%	2	1.0%
10.自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11.自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12.その他	2	2.2%	1	1.0%	0	0.0%	3	1.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全 体	89	100.0%	96	100.0%	21	100.0%	206	100.0%

※「治療または軽快して30日以内に退院できる見通し」と「治療または軽快して90日以内に退院できる見通し」を合わせた患者数

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=97)		医療区分2 (n=94)		医療区分3 (n=14)		回答計 (n=205)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	43	44.3%	38	40.4%	3	21.4%	84	41.0%
2. 有料老人ホーム等	3	3.1%	6	6.4%	0	0.0%	9	4.4%
グループホーム	3	3.1%	1	1.1%	0	0.0%	4	2.0%
有料老人ホーム	0	0.0%	4	4.3%	0	0.0%	4	2.0%
ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.5%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	8	8.2%	25	26.6%	5	35.7%	38	18.5%
4. 介護老人保健施設	29	29.9%	14	14.9%	5	35.7%	48	23.4%
5. 他の医療機関の一般病床	3	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.5%
6. 他の医療機関の療養病床	7	7.2%	8	8.5%	1	7.1%	16	7.8%
7. 他の医療機関のその他の病床	2	2.1%	2	2.1%	0	0.0%	4	2.0%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10.自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.5%
11. 自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12. その他	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全 体	97	100.0%	94	100.0%	14	100.0%	205	100.0%

■退院先の見通し(再掲) [図表13]

(退院の見通しで「今後受け皿が整備されれば退院できる」の回答者)

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=789)		医療区分2 (n=1,052)		医療区分3 (n=209)		全 体 (n=2,050)	
1. 自宅(家族との同居を含む)	120	15.2%	154	14.6%	42	20.1%	316	15.4%
2. 有料老人ホーム等	38	4.8%	42	4.0%	4	1.9%	84	4.1%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	258	32.7%	296	28.1%	46	22.0%	600	29.3% ↑
4. 介護老人保健施設	257	32.6%	391	37.2%	88	42.1%	736	35.9%
5. 他の医療機関の一般病床	5	0.6%	6	0.6%	3	1.4%	14	0.7%
6. 他の医療機関の療養病床	35	4.4%	86	8.2%	14	6.7%	135	6.6% ↓
7. 他の医療機関のその他の病床	2	0.3%	3	0.3%	0	0.0%	5	0.2%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	2	0.3%	3	0.3%	0	0.0%	5	0.2%
9. 自院の介護療養病床<新規>	35	4.4%	40	3.8%	5	2.4%	80	3.9%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	2	0.3%	2	0.2%	1	0.5%	5	0.2%
11. 自院のその他の病床	5	0.6%	5	0.5%	0	0.0%	10	0.5%
12. その他	22	2.8%	15	1.4%	3	1.4%	40	2.0%
無回答	8	1.0%	9	0.9%	3	1.4%	20	1.0%
全 体	789	100.0%	1,052	100.0%	209	100.0%	2,050	100.0%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=673)		医療区分2 (n=803)		医療区分3 (n=164)		回答計 (n=1,640)	
1. 自宅(家族等との同居を含む)	118	17.5%	106	13.2%	25	15.2%	249	15.2%
2. 有料老人ホーム等	45	6.7%	46	5.7%	4	2.4%	95	5.8%
グループホーム	18	2.7%	18	2.2%	0	0.0%	36	2.2%
有料老人ホーム	9	1.3%	16	2.0%	1	0.6%	26	1.6%
ケアハウス(経費老人ホーム含む)	18	2.7%	12	1.5%	3	1.8%	33	2.0%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	193	28.7%	173	21.5%	18	11.0%	384	23.4%
4. 介護老人保健施設	204	30.3%	286	35.6%	55	33.5%	545	33.2%
5. 他の医療機関の一般病床	8	1.2%	11	1.4%	7	4.3%	26	1.6%
6. 他の医療機関の療養病床	60	8.9%	151	18.8%	50	30.5%	261	15.9%
7. 他の医療機関のその他の病床	6	0.9%	5	0.6%	1	0.6%	12	0.7%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	2	0.2%	2	1.2%	4	0.2%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
11. 自院のその他の病床	20	3.0%	15	1.9%	2	1.2%	37	2.3%
12. その他	16	2.4%	7	0.9%	0	0.0%	23	1.4%
無回答	3	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
全 体	673	100.0%	803	100.0%	164	100.0%	1,640	100.0%

■退院先の見通し(再掲) [図表14]

(退院の見通しで「今後受け皿が整備されれば退院できる」の回答者)

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=175)		医療区分2 (n=278)		医療区分3 (n=85)		全 体 (n=538)	
1. 自宅(家族等との同居を含む)	18	10.3%	24	8.6%	12	14.1%	54	10.0% ↓
2. 有料老人ホーム等	2	1.1%	4	1.4%	0	0.0%	6	1.1% ↓
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	43	24.6%	56	20.1%	8	9.4%	107	19.9%
4. 介護老人保健施設	88	50.3%	168	60.4%	57	67.1%	313	58.2% ↑
5. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	0	0.0%	2	2.4%	2	0.4%
6. 他の医療機関の療養病床	11	6.3%	17	6.1%	2	2.4%	30	5.6% ↓
7. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9. 自院の介護療養病床<新規>	5	2.9%	5	1.8%	2	2.4%	12	2.2%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	1	0.6%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.4%
11. 自院のその他の病床	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
12. その他	4	2.3%	3	1.1%	0	0.0%	7	1.3%
無回答	2	1.1%	0	0.0%	2	2.4%	4	0.7%
全 体	175	100.0%	278	100.0%	85	100.0%	538	100.0%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=289)		医療区分2 (n=330)		医療区分3 (n=83)		回答計 (n=702)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	56	19.4%	45	13.6%	12	14.5%	113	16.1%
2. 有料老人ホーム等	19	6.6%	21	6.4%	3	3.6%	43	6.1%
グループホーム	10	3.5%	6	1.8%	0	0.0%	16	2.3%
有料老人ホーム	2	0.7%	8	2.4%	1	1.2%	11	1.6%
ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	7	2.4%	7	2.1%	2	2.4%	16	2.3%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	69	23.9%	60	18.2%	9	10.8%	138	19.7%
4. 介護老人保健施設	97	33.6%	128	38.8%	29	34.9%	254	36.2%
5. 他の医療機関の一般病床	3	1.0%	3	0.9%	3	3.6%	9	1.3%
6. 他の医療機関の療養病床	25	8.7%	64	19.4%	25	30.1%	114	16.2%
7. 他の医療機関のその他の病床	3	1.0%	1	0.3%	1	1.2%	5	0.7%
8. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定病棟	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%
11. 自院のその他の病床	10	3.5%	3	0.9%	1	1.2%	14	2.0%
12. その他	7	2.4%	3	0.9%	0	0.0%	10	1.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全 体	289	100.0%	330	100.0%	83	100.0%	702	100.0%

4 その他の患者状態像(医療区分採用項目以外)

■疾患(複数回答) [図表15]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
糖尿病	302	12.1%	900	23.3%	259	16.6%	1,461	18.4% ↑
不整脈	90	3.6%	159	4.1%	58	3.7%	307	3.9%
急性心不全	15	0.6%	25	0.6%	31	2.0%	71	0.9%
慢性心不全	227	9.1%	444	11.5%	292	18.7%	963	12.1% ↑
高血圧症	604	24.2%	861	22.3%	271	17.3%	1,736	21.9%
虚血性心疾患	201	8.0%	321	8.3%	101	6.5%	623	7.9%
脊髄損傷	47	1.9%	74	1.9%	21	1.3%	142	1.8%
大腿骨頸部骨折	208	8.3%	220	5.7%	76	4.9%	504	6.4%
脊椎圧迫骨折	95	3.8%	114	2.9%	26	1.7%	235	3.0%
その他の骨折	99	4.0%	102	2.6%	26	1.7%	227	2.9%
関節リウマチ	67	2.7%	70	1.8%	26	1.7%	163	2.1%
アルツハイマー病	129	5.2%	239	6.2%	79	5.1%	447	5.6%
アルツハイマー病以外の認知症	327	13.1%	588	15.2%	236	15.1%	1,151	14.5% ↓
失語症	105	4.2%	217	5.6%	95	6.1%	417	5.3% ↓
脳性麻痺	71	2.8%	38	1.0%	6	0.4%	115	1.5%
脳梗塞	800	32.0%	1,344	34.8%	524	33.5%	2,668	33.7% ↓
脳出血	255	10.2%	451	11.7%	218	13.9%	924	11.7% ↓
片側不全麻痺	275	11.0%	513	13.3%	215	13.8%	1,003	12.7%
四肢麻痺	91	3.6%	332	8.6%	172	11.0%	595	7.5%
仮性球麻痺	77	3.1%	230	6.0%	135	8.6%	442	5.6% ↓
気管支喘息	76	3.0%	93	2.4%	68	4.4%	237	3.0%
腸閉塞(イレウス)	23	0.9%	47	1.2%	27	1.7%	97	1.2%
肝不全	7	0.3%	10	0.3%	10	0.6%	27	0.3%
がん(悪性腫瘍)	145	5.8%	255	6.6%	146	9.3%	546	6.9%
腎不全	66	2.6%	317	8.2%	96	6.1%	479	6.0%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの
平成18年度と同じ疾患のみ記載している

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
糖尿病	230	12.7%	444	16.3%	132	12.4%	806	14.4%
不整脈	100	5.5%	147	5.4%	72	6.8%	319	5.7%
急性心不全	5	0.3%	6	0.2%	12	1.1%	23	0.4%
慢性心不全	147	8.1%	200	7.3%	146	13.7%	493	8.8%
高血圧症	407	22.5%	529	19.4%	175	16.4%	1,111	19.8%
虚血性心疾患	93	5.1%	140	5.1%	52	4.9%	285	5.1%
脊髄損傷	35	1.9%	81	3.0%	6	0.6%	122	2.2%
大腿骨頸部骨折	139	7.7%	163	6.0%	48	4.5%	350	6.2%
脊椎圧迫骨折	52	2.9%	80	2.9%	22	2.1%	154	2.7%
その他の骨折	83	4.6%	85	3.1%	31	2.9%	199	3.5%
関節リウマチ	36	2.0%	71	2.6%	10	0.9%	117	2.1%
アルツハイマー病	79	4.4%	103	3.8%	47	4.4%	229	4.1%
アルツハイマー病以外の認知症	315	17.4%	519	19.0%	174	16.3%	1,008	18.0%
失語症	142	7.8%	246	9.0%	90	8.4%	478	8.5%
脳性麻痺	12	0.7%	22	0.8%	8	0.8%	42	0.7%
脳梗塞	724	40.0%	958	35.1%	414	38.8%	2,096	37.4%
脳出血	333	18.4%	468	17.1%	170	15.9%	971	17.3%
片側不全麻痺	310	17.1%	347	12.7%	94	8.8%	751	13.4%
四肢麻痺	81	4.5%	292	10.7%	118	11.1%	491	8.8%
仮性球麻痺	257	14.2%	424	15.5%	198	18.6%	879	15.7%
喘息	43	2.4%	60	2.2%	55	5.2%	158	2.8%
腸閉塞(イレウス)	10	0.6%	26	1.0%	32	3.0%	68	1.2%
肝不全	11	0.6%	24	0.9%	16	1.5%	51	0.9%
がん(悪性腫瘍)	95	5.2%	147	5.4%	110	10.3%	352	6.3%
腎不全	81	4.5%	170	6.2%	50	4.7%	301	5.4%

4 その他の患者状態像(医療区分採用項目以外)

■疾患(複数回答) [図表16]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
糖尿病	59	11.9%	245	25.5%	97	20.3%	401	20.7% ↑
不整脈	31	6.3%	32	3.3%	24	5.0%	87	4.5%
急性心不全	2	0.4%	3	0.3%	4	0.8%	9	0.5%
慢性心不全	57	11.5%	138	14.4%	98	20.5%	293	15.1% ↑
高血圧症	130	26.2%	223	23.2%	104	21.7%	457	23.6% ↑
虚血性心疾患	37	7.5%	43	4.5%	26	5.4%	106	5.5%
脊髄損傷	18	3.6%	26	2.7%	6	1.3%	50	2.6%
大腿骨頸部骨折	41	8.3%	58	6.0%	22	4.6%	121	6.3%
脊椎圧迫骨折	10	2.0%	31	3.2%	13	2.7%	54	2.8%
その他の骨折	15	3.0%	25	2.6%	11	2.3%	51	2.6%
関節リウマチ	17	3.4%	19	2.0%	10	2.1%	46	2.4%
アルツハイマー病	26	5.2%	56	5.8%	25	5.2%	107	5.5%
アルツハイマー病以外の認知症	85	17.1%	160	16.6%	69	14.4%	314	16.2%
失語症	49	9.9%	67	7.0%	31	6.5%	147	7.6%
脳性麻痺	3	0.6%	8	0.8%	2	0.4%	13	0.7%
脳梗塞	176	35.5%	316	32.9%	161	33.6%	653	33.7%
脳出血	72	14.5%	130	13.5%	96	20.0%	298	15.4% ↓
片側不全麻痺	93	18.8%	174	18.1%	100	20.9%	367	19.0% ↑
四肢麻痺	22	4.4%	109	11.3%	83	17.3%	214	11.1%
仮性球麻痺	44	8.9%	125	13.0%	84	17.5%	253	13.1% ↓
気管支喘息	15	3.0%	21	2.2%	22	4.6%	58	3.0%
腸閉塞(イレウス)	2	0.4%	15	1.6%	8	1.7%	25	1.3%
肝不全	3	0.6%	2	0.2%	4	0.8%	9	0.5%
がん(悪性腫瘍)	23	4.6%	74	7.7%	44	9.2%	141	7.3%
腎不全	15	3.0%	31	3.2%	29	6.1%	75	3.9%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの
上記疾患は、平成20年度調査票に記載したものうち、平成18年度調査票と同じ項目で比較可能なもののみ掲載

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
糖尿病	102	13.2%	183	14.7%	75	14.1%	360	14.1%
不整脈	34	4.4%	48	3.9%	23	4.3%	105	4.1%
急性心不全	2	0.3%	2	0.2%	2	0.4%	6	0.2%
慢性心不全	62	8.0%	80	6.4%	75	14.1%	217	8.5%
高血圧症	175	22.7%	183	14.7%	76	14.3%	434	17.0%
虚血性心疾患	37	4.8%	57	4.6%	22	4.1%	116	4.6%
脊髄損傷	26	3.4%	49	3.9%	2	0.4%	77	3.0%
大腿骨頸部骨折	54	7.0%	62	5.0%	22	4.1%	138	5.4%
脊椎圧迫骨折	16	2.1%	26	2.1%	10	1.9%	52	2.0%
その他の骨折	24	3.1%	29	2.3%	13	2.4%	66	2.6%
関節リウマチ	9	1.2%	29	2.3%	6	1.1%	44	1.7%
アルツハイマー病	25	3.2%	37	3.0%	17	3.2%	79	3.1%
アルツハイマー病以外の認知症	111	14.4%	228	18.3%	71	13.3%	410	16.1%
失語症	94	12.2%	114	9.2%	52	9.8%	260	10.2%
脳性麻痺	4	0.5%	8	0.6%	1	0.2%	13	0.5%
脳梗塞	302	39.2%	399	32.1%	201	37.8%	902	35.4%
脳出血	180	23.3%	222	17.9%	103	19.4%	505	19.8%
片側不全麻痺	156	20.2%	154	12.4%	56	10.5%	366	14.4%
四肢麻痺	47	6.1%	144	11.6%	57	10.7%	248	9.7%
仮性球麻痺	174	22.6%	269	21.6%	137	25.8%	580	22.8%
喘息	18	2.3%	29	2.3%	28	5.3%	75	2.9%
腸閉塞(イレウス)	1	0.1%	10	0.8%	10	1.9%	21	0.8%
肝不全	5	0.6%	10	0.8%	6	1.1%	21	0.8%
がん(悪性腫瘍)	47	6.1%	63	5.1%	36	6.8%	146	5.7%
腎不全	41	5.3%	56	4.5%	22	4.1%	119	4.7%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの
上記疾患は、平成20年度調査票に記載したものうち、平成18年度調査票と同じ項目で比較可能なもののみ掲載

■感染症(複数回答) [図表17]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	19	0.8%	92	2.4%	121	7.7%	232	2.9%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	2	0.1%	1	0.1%	3	0.0%
ウイルス性肝炎	30	1.2%	42	1.1%	16	1.0%	88	1.1%
上気道感染	5	0.2%	36	0.9%	22	1.4%	63	0.8%
敗血症	1	0.0%	8	0.2%	12	0.8%	21	0.3%
結核	13	0.5%	5	0.1%	9	0.6%	27	0.3%
インフルエンザ<新規>	1	0.0%	5	0.1%	3	0.2%	9	0.1%
胃腸炎<新規>	11	0.4%	20	0.5%	25	1.6%	56	0.7%
髄膜炎<新規>	1	0.0%	4	0.1%	2	0.1%	7	0.1%

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	20	1.1%	81	3.0%	93	8.7%	194	3.5%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.0%
ウイルス性肝炎	15	0.8%	15	0.5%	4	0.4%	34	0.6%
上気道感染	15	0.8%	73	2.7%	36	3.4%	124	2.2%
敗血症	1	0.1%	4	0.1%	10	0.9%	15	0.3%
結核	2	0.1%	4	0.1%	1	0.1%	7	0.1%
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上記以外の結核	2	0.1%	4	0.1%	1	0.1%	7	0.1%
皮膚の感染症	10	0.6%	37	1.4%	22	2.1%	69	1.2%
急性胆嚢炎	7	0.4%	14	0.5%	11	1.0%	32	0.6%
急性腹膜炎	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
急性肺炎	0	0.0%	2	0.1%	2	0.2%	4	0.1%

■問題状況(複数回答) [図表18]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
脱水	0	0.0%	249	6.4%	215	13.8%	464	5.9%
妄想	32	1.3%	148	3.8%	31	2.0%	211	2.7%
発熱	36	1.4%	350	9.1%	521	33.3%	907	11.4% ↓
幻覚	26	1.0%	94	2.4%	31	2.0%	151	1.9%
嘔吐	9	0.4%	53	1.4%	66	4.2%	128	1.6%
胸水	10	0.4%	57	1.5%	98	6.3%	165	2.1%
腹水	6	0.2%	17	0.4%	19	1.2%	42	0.5%
消化管の通過障害(癌を伴う)	1	0.0%	21	0.5%	18	1.2%	40	0.5%
消化管等の体内出血<新規>	0	0.0%	28	0.7%	39	2.5%	67	0.8%
貧血<新規>	59	2.4%	191	4.9%	142	9.1%	392	4.9%
めまい<新規>	20	0.8%	38	1.0%	8	0.5%	66	0.8%
便秘<新規>	527	21.1%	1,280	33.1%	485	31.0%	2,292	28.9%
尿、便失禁<新規>	1,015	40.6%	2,179	56.4%	1,022	65.4%	4,216	53.2%

(注)平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
脱水	0	0.0%	186	6.8%	129	12.1%	315	5.6%
妄想	54	3.0%	185	6.8%	32	3.0%	271	4.8%
発熱	50	2.8%	378	13.8%	458	43.0%	886	15.8%
幻覚	33	1.8%	103	3.8%	23	2.2%	159	2.8%
嘔吐	5	0.3%	72	2.6%	39	3.7%	116	2.1%
胸水	4	0.2%	28	1.0%	61	5.7%	93	1.7%
腹水	1	0.1%	10	0.4%	20	1.9%	31	0.6%
消化管の通過障害(癌を伴う)	3	0.2%	7	0.3%	17	1.6%	27	0.5%
高カルシウム血症(10.5mg/dl以上)	0	0.0%	4	0.1%	2	0.2%	6	0.1%
悪液質(癌を伴う)	4	0.2%	9	0.3%	21	2.0%	34	0.6%

■感染症(複数回答) [図表19]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	8	1.6%	20	2.1%	30	6.3%	58	3.0%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ウイルス性肝炎	13	2.6%	9	0.9%	9	1.9%	31	1.6%
上気道感染	3	0.6%	12	1.2%	12	2.5%	27	1.4%
敗血症	0	0.0%	2	0.2%	4	0.8%	6	0.3%
結核	1	0.2%	2	0.2%	4	0.8%	7	0.4%
インフルエンザ<新規>	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	2	0.1%
胃腸炎<新規>	2	0.4%	5	0.5%	11	2.3%	18	0.9%
髄膜炎<新規>	1	0.2%	2	0.2%	1	0.2%	4	0.2%

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	6	0.8%	15	1.2%	32	6.0%	53	2.1%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.0%
ウイルス性肝炎	6	0.8%	6	0.5%	4	0.8%	16	0.6%
上気道感染	8	1.0%	41	3.3%	18	3.4%	67	2.6%
敗血症	0	0.0%	2	0.2%	6	1.1%	8	0.3%
結核	1	0.1%	2	0.2%	1	0.2%	4	0.2%
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上記以外の結核	1	0.1%	2	0.2%	1	0.2%	4	0.2%
皮膚の感染症	4	0.5%	13	1.0%	7	1.3%	24	0.9%
急性胆嚢炎	4	0.5%	7	0.6%	4	0.8%	15	0.6%
急性腹膜炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
急性肺炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■問題状況(複数回答) [図表20]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
脱水	0	0.0%	95	9.9%	100	20.9%	195	10.1%
妄想	6	1.2%	34	3.5%	7	1.5%	47	2.4%
発熱	14	2.8%	145	15.1%	242	50.5%	401	20.7% ↑
幻覚	3	0.6%	19	2.0%	6	1.3%	28	1.4%
嘔吐	1	0.2%	17	1.8%	23	4.8%	41	2.1%
胸水	0	0.0%	18	1.9%	37	7.7%	55	2.8%
腹水	1	0.2%	4	0.4%	5	1.0%	10	0.5%
消化管の通過障害(癌を伴う)	0	0.0%	7	0.7%	5	1.0%	12	0.6%
消化管等の体内出血<新規>	0	0.0%	11	1.1%	7	1.5%	18	0.9%
貧血<新規>	18	3.6%	47	4.9%	53	11.1%	118	6.1%
めまい<新規>	7	1.4%	13	1.4%	3	0.6%	23	1.2%
便秘<新規>	108	21.8%	283	29.4%	154	32.2%	545	28.2%
尿、便失禁<新規>	259	52.2%	671	69.8%	373	77.9%	1,303	67.3%
全 体	496	100.0%	961	100.0%	479	100.0%	1,936	100.0%

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
脱水	0	0.0%	124	10.0%	80	15.0%	204	8.0%
妄想	25	3.2%	70	5.6%	16	3.0%	111	4.4%
発熱	25	3.2%	196	15.8%	226	42.5%	447	17.6%
幻覚	17	2.2%	35	2.8%	8	1.5%	60	2.4%
嘔吐	2	0.3%	33	2.7%	24	4.5%	59	2.3%
胸水	2	0.3%	11	0.9%	40	7.5%	53	2.1%
腹水	1	0.1%	3	0.2%	7	1.3%	11	0.4%
消化管の通過障害(癌を伴う)	0	0.0%	1	0.1%	8	1.5%	9	0.4%
高カルシウム血症(10.5mg/dl以上)	0	0.0%	2	0.2%	1	0.2%	3	0.1%
悪液質(癌を伴う)	1	0.1%	6	0.5%	11	2.1%	18	0.7%

■処置・治療(複数回答) [図表21]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
抗がん剤療法	4	0.2%	11	0.3%	4	0.3%	19	0.2%
胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処置	208	8.3%	810	21.0%	405	25.9%	1,423	18.0% ↓
放射線治療	0	0.0%	1	0.0%	1	0.1%	2	0.0%
吸引(1日1～7回)	143	5.7%	271	7.0%	213	13.6%	627	7.9%
輸血	0	0.0%	5	0.1%	14	0.9%	19	0.2%
緩和ケア	9	0.4%	31	0.8%	23	1.5%	63	0.8%
疼痛コントロール	44	1.8%	108	2.8%	49	3.1%	201	2.5%
膀胱留置カテーテル	132	5.3%	426	11.0%	443	28.3%	1,001	12.6%
血糖チェック(週1回～1日2回)	61	2.4%	496	12.8%	235	15.0%	792	10.0% ↑
インスリン皮下注射	45	1.8%	316	8.2%	110	7.0%	471	5.9%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
抗がん剤療法	6	0.3%	8	0.3%	3	0.3%	17	0.3%
胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処置	205	11.3%	705	25.8%	296	27.8%	1,206	21.5%
放射線治療	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.0%
吸引(1日1～7回)	96	5.3%	205	7.5%	167	15.7%	468	8.3%
輸血	1	0.1%	4	0.1%	12	1.1%	17	0.3%
緩和ケア	6	0.3%	19	0.7%	15	1.4%	40	0.7%
疼痛コントロール	43	2.4%	108	4.0%	35	3.3%	186	3.3%
膀胱留置カテーテル	100	5.5%	328	12.0%	352	33.0%	780	13.9%
血糖チェック(週1回～1日2回)	58	3.2%	103	3.8%	92	8.6%	253	4.5%
インスリン皮下注射	49	2.7%	176	6.4%	53	5.0%	278	5.0%

■状態の安定性(複数回答) [図表22]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
個室における管理が必要	17	0.7%	39	1.0%	116	7.4%	172	2.2%
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題が再燃した	31	1.2%	128	3.3%	251	16.1%	410	5.2% ↓
末期の疾患であり、余命が6ヵ月以下である	9	0.4%	38	1.0%	109	7.0%	156	2.0%
床上安静の指示あり<新規>	74	3.0%	198	5.1%	145	9.3%	417	5.3%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
個室における管理が必要	6	0.3%	42	1.5%	95	8.9%	143	2.5%
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題が再燃した	45	2.5%	225	8.2%	232	21.8%	502	9.0%
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	11	0.6%	19	0.7%	73	6.8%	103	1.8%

■処置・治療(複数回答) [図表23]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
抗がん剤療法	1	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	3	0.2%
胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処置	78	15.7%	323	33.6%	188	39.2%	589	30.4% ↑
放射線治療	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%
吸引(1日1～7回)	37	7.5%	61	6.3%	55	11.5%	153	7.9%
輸血	0	0.0%	2	0.2%	7	1.5%	9	0.5%
緩和ケア	5	1.0%	17	1.8%	9	1.9%	31	1.6%
疼痛コントロール	5	1.0%	32	3.3%	15	3.1%	52	2.7%
膀胱留置カテーテル	32	6.5%	114	11.9%	106	22.1%	252	13.0%
血糖チェック(週1回～1日2回)	5	1.0%	180	18.7%	117	24.4%	302	15.6% ↑
インスリン皮下注射	8	1.6%	91	9.5%	48	10.0%	147	7.6%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
抗がん剤療法	2	0.3%	4	0.3%	1	0.2%	7	0.3%
胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処置	111	14.4%	361	29.0%	170	32.0%	642	25.2%
放射線治療	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
吸引(1日1～7回)	44	5.7%	107	8.6%	78	14.7%	229	9.0%
輸血	0	0.0%	4	0.3%	10	1.9%	14	0.5%
緩和ケア	2	0.3%	3	0.2%	6	1.1%	11	0.4%
疼痛コントロール	13	1.7%	39	3.1%	11	2.1%	63	2.5%
膀胱留置カテーテル	37	4.8%	153	12.3%	126	23.7%	316	12.4%
血糖チェック(週1回～1日2回)	24	3.1%	35	2.8%	47	8.8%	106	4.2%
インスリン皮下注射	20	2.6%	82	6.6%	34	6.4%	136	5.3%

■状態の安定性(複数回答) [図表24]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
個室における管理が必要	3	0.6%	7	0.7%	21	4.4%	31	1.6%
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題が再燃した	5	1.0%	39	4.1%	74	15.4%	118	6.1% ↓
末期の疾患であり、余命が6ヵ月以下である	2	0.4%	12	1.2%	22	4.6%	36	1.9%
床上安静の指示あり<新規>	11	2.2%	21	2.2%	26	5.4%	58	3.0%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
個室における管理が必要	2	0.3%	13	1.0%	44	8.3%	59	2.3%
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題が再燃した	29	3.8%	110	8.8%	123	23.1%	262	10.3%
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	5	0.6%	5	0.4%	29	5.5%	39	1.5%

■栄養摂取の方法(複数回答) [図表25]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	400	25.6%	400	5.0%
末梢静脈栄養	24	1.0%	126	3.3%	256	16.4%	406	5.1%
経管栄養(経鼻等、胃瘻)	493	19.7%	1,698	43.9%	712	45.6%	2,903	36.6%
経管栄養(経鼻等《胃瘻を除く》)	151	6.0%	528	13.7%	246	15.7%	925	11.7%
経管栄養(胃瘻)	342	13.7%	1,172	30.3%	470	30.1%	1,984	25.0%
いずれか1つ以上該当	514	20.6%	1,797	46.5%	1,199	76.7%	3,510	44.3%

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	364	34.1%	364	6.5%
末梢静脈栄養	23	1.3%	106	3.9%	199	18.7%	328	5.8%
経管栄養	357	19.7%	1,242	45.5%	468	43.9%	2,067	36.9%
いずれか1つ以上該当	377	20.8%	1,319	48.3%	886	83.1%	2,582	46.0%

■リハビリテーションを要す状態 [図表26] (過去3日間における必要性)

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
特にリハビリテーションは必要ではない	872	34.9%	1,246	32.2%	611	39.1%	2,729	34.4% ↑
維持的リハビリテーションが必要な状態	1,109	44.4%	1,890	48.9%	719	46.0%	3,718	46.9% ↓
積極的リハビリテーションが必要な状態	396	15.9%	564	14.6%	186	11.9%	1,146	14.5%
無回答	121	4.8%	165	4.3%	47	3.0%	333	4.2%
全 体	2,498	100.0%	3,865	100.0%	1,563	100.0%	7,926	100.0%

(注)平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
特にリハビリテーションは必要ではない	459	25.4%	804	29.4%	428	40.2%	1,691	30.2%
維持的リハビリテーションが必要な状態	968	53.5%	1,409	51.6%	511	47.9%	2,888	51.5%
積極的リハビリテーションが必要な状態	304	16.8%	395	14.5%	73	6.8%	772	13.8%
無回答	79	4.4%	124	4.5%	54	5.1%	257	4.6%
全 体	1,810	100.0%	2,732	100.0%	1,066	100.0%	5,608	100.0%

■リハビリテーションを要す状態(再掲) [図表27]

“必要な状態”の場合、発症してからの日数

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=1,505)		医療区分2 (n=2,454)		医療区分3 (n=905)		全 体 (n=4,864)	
14日以下	12	0.8%	41	1.7%	25	2.8%	78	1.6%
15日から30日以下	10	0.7%	117	4.8%	18	2.0%	145	3.0%
31日から90日以下	274	18.2%	218	8.9%	91	10.1%	583	12.0%
91日から180日以下	220	14.6%	275	11.2%	113	12.5%	608	12.5%
181日以上	922	61.3%	1,755	71.5%	646	71.4%	3,323	68.3% ↓
無回答	67	4.5%	48	2.0%	12	1.3%	127	2.6%
全 体	1,505	100.0%	2,454	100.0%	905	100.0%	4,864	100.0%

(注)平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,272)		医療区分2 (n=1,804)		医療区分3 (n=584)		回答計 (n=3,660)	
14日以下	1	0.1%	37	2.1%	16	2.7%	54	1.5%
15日から30日以下	6	0.5%	87	4.8%	11	1.9%	104	2.8%
31日から90日以下	151	11.9%	162	9.0%	74	12.7%	387	10.6%
91日から180日以下	172	13.5%	201	11.1%	74	12.7%	447	12.2%
181日以上	933	73.3%	1,308	72.5%	403	69.0%	2,644	72.2%
無回答	9	0.7%	9	0.5%	6	1.0%	24	0.7%
全 体	1,272	100.0%	1,804	100.0%	584	100.0%	3,660	100.0%

■栄養摂取の方法(複数回答) [図表28]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	132	27.6%	132	6.8%
末梢静脈栄養	8	1.6%	44	4.6%	72	15.0%	124	6.4%
経管栄養(経鼻等、胃瘻)	139	28.0%	458	47.7%	270	56.4%	867	44.8%
経管栄養(経鼻等《胃瘻を除く》)	36	7.3%	117	12.2%	88	18.4%	241	12.4%
経管栄養(胃瘻)	103	20.8%	342	35.6%	183	38.2%	628	32.4%
いずれか1つ以上該当	147	29.6%	491	51.1%	388	81.0%	1,026	53.0%

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	170	32.0%	170	6.7%
末梢静脈栄養	9	1.2%	57	4.6%	102	19.2%	168	6.6%
経管栄養	180	23.3%	638	51.3%	279	52.4%	1,097	43.1%
いずれか1つ以上該当	187	24.3%	680	54.7%	458	86.1%	1,325	52.0%

■リハビリテーションを要す状態 過去3日間における必要性 [図表29]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
特にリハビリテーションは必要ではない	80	16.1%	166	17.3%	72	15.0%	318	16.4% ↓
維持的リハビリテーションが必要な状態	291	58.7%	582	60.6%	302	63.0%	1,175	60.7%
積極的リハビリテーションが必要な状態	115	23.2%	204	21.2%	103	21.5%	422	21.8% ↑
無回答	10	2.0%	9	0.9%	2	0.4%	21	1.1%
全 体	496	100.0%	961	100.0%	479	100.0%	1,936	100.0%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
特にリハビリテーションは必要ではない	140	18.2%	308	24.8%	141	26.5%	589	23.1%
維持的リハビリテーションが必要な状態	463	60.1%	718	57.8%	335	63.0%	1,516	59.5%
積極的リハビリテーションが必要な状態	155	20.1%	203	16.3%	50	9.4%	408	16.0%
無回答	13	1.7%	14	1.1%	6	1.1%	33	1.3%
全 体	771	100.0%	1,243	100.0%	532	100.0%	2,546	100.0%

■リハビリテーションを要す状態(再掲) [図表30]

“必要な状態”の場合、発症してからの日数

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=406)		医療区分2 (n=786)		医療区分3 (n=405)		全 体 (n=1,597)	
14日以下	2	0.5%	13	1.7%	20	4.9%	35	2.2%
15日から30日以下	0	0.0%	41	5.2%	13	3.2%	54	3.4%
31日から90日以下	73	18.0%	67	8.5%	42	10.4%	182	11.4%
91日から180日以下	48	11.8%	88	11.2%	47	11.6%	183	11.5%
181日以上	273	67.2%	574	73.0%	282	69.6%	1,129	70.7% ↓
無回答	10	2.5%	3	0.4%	1	0.2%	14	0.9%
全 体	406	100.0%	786	100.0%	405	100.0%	1,597	100.0%

(注) 平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=618)		医療区分2 (n=921)		医療区分3 (n=385)		回答計 (n=1,924)	
14日以下	0	0.0%	21	2.3%	15	3.9%	36	1.9%
15日から30日以下	1	0.2%	37	4.0%	7	1.8%	45	2.3%
31日から90日以下	57	9.2%	73	7.9%	47	12.2%	177	9.2%
91日から180日以下	61	9.9%	86	9.3%	42	10.9%	189	9.8%
181日以上	498	80.6%	703	76.3%	274	71.2%	1,475	76.7%
無回答	1	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	2	0.1%
全 体	618	100.0%	921	100.0%	385	100.0%	1,924	100.0%

■リハビリテーションの実施(複数回答) [図表31]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
a. 心大血管疾患リハビリテーション(I)	2	0.1%	3	0.1%	0	0.0%	5	0.1%
b. 心大血管疾患リハビリテーション(II)	2	0.1%	1	0.0%	1	0.1%	4	0.1%
c. 脳血管疾患等リハビリテーション(I)	479	19.2%	1,047	27.1%	446	28.5%	1,972	24.9%
d. 脳血管疾患等リハビリテーション(II)	171	6.8%	323	8.4%	91	5.8%	585	7.4%
e. 脳血管疾患等リハビリテーション(III)	121	4.8%	208	5.4%	54	3.5%	383	4.8%
f. 運動器リハビリテーション(I)	383	15.3%	401	10.4%	122	7.8%	906	11.4%
g. 運動器リハビリテーション(II)	66	2.6%	72	1.9%	11	0.7%	149	1.9%
h. 呼吸器リハビリテーション(I)	13	0.5%	25	0.6%	33	2.1%	71	0.9%
i. 呼吸器リハビリテーション(II)	3	0.1%	7	0.2%	6	0.4%	16	0.2%
j. 摂食機能療法	96	3.8%	260	6.7%	129	8.3%	485	6.1%
k. 集団コミュニケーション療法	16	0.6%	13	0.3%	0	0.0%	29	0.4%
無回答	1,272	50.9%	1,796	46.5%	798	51.1%	3,866	48.8%

※リハビリテーションの体系が変更されているため、割合の増減に関する比較無し

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
a. 心大血管疾患リハビリテーション(I)	2	0.1%	8	0.3%	1	0.1%	11	0.2%
b. 心大血管疾患リハビリテーション(II)	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.0%
c. 脳血管疾患等リハビリテーション(I)	431	23.8%	676	24.7%	180	16.9%	1,287	22.9%
d. 脳血管疾患等リハビリテーション(II)	229	12.7%	367	13.4%	105	9.8%	701	12.5%
e. 運動器リハビリテーション(I)	170	9.4%	200	7.3%	38	3.6%	408	7.3%
f. 運動器リハビリテーション(II)	78	4.3%	91	3.3%	8	0.8%	177	3.2%
g. 呼吸器リハビリテーション(I)	5	0.3%	25	0.9%	30	2.8%	60	1.1%
h. 呼吸器リハビリテーション(II)	1	0.1%	1	0.0%	5	0.5%	7	0.1%
無回答	921	50.9%	1,391	50.9%	711	66.7%	3,023	53.9%

■処置・治療 身体抑制 [図表32]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=2,498)		医療区分2 (n=3,865)		医療区分3 (n=1,563)		全 体 (n=7,926)	
身体抑制をした	473	18.9%	924	23.9%	368	23.5%	1,765	22.3%
身体抑制をしなかった	1,887	75.5%	2,793	72.3%	1,158	74.1%	5,838	73.7%
無回答	138	5.5%	148	3.8%	37	2.4%	323	4.1%
全 体	2,498	100.0%	3,865	100.0%	1,563	100.0%	7,926	100.0%

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=1,810)		医療区分2 (n=2,732)		医療区分3 (n=1,066)		回答計 (n=5,608)	
身体抑制をした	393	21.7%	643	23.5%	247	23.2%	1,283	22.9%
身体抑制をしなかった	1,315	72.7%	1,972	72.2%	777	72.9%	4,064	72.5%
無回答	102	5.6%	117	4.3%	42	3.9%	261	4.7%
全 体	1,810	100.0%	2,732	100.0%	1,066	100.0%	5,608	100.0%

※「身体抑制をした」の定義は下記のとおり。

平成 18 年度調査：「a. すべてにベッド柵」「c. 体幹部の抑制」「d. 四肢の抑制」「e. 起き上がれない椅子」のいずれかに「f. 毎日使用しなかった」または「2. 毎日使用した」と回答

平成 20 年度調査：「a. 四肢の抑制」「b. 体幹部の抑制」「c. ベッドを柵（サイドレール）で囲む」「d. 介護衣（つなぎ服）の着用」「e. 車いすや椅子から立ち上がれないようにする（抑制のための腰ベルトや立ち上がれない椅子の使用）」「f. ミトンの使用（手指の機能抑制）」「g. 居室等への隔離（患者の意思による出入りの制限）」のいずれかに「1. 毎日実施しなかった」または「2. 毎日実施した」と回答

「身体抑制をしなかった」の定義は下記のとおり。

平成 18 年度調査：「a. すべてにベッド柵」「c. 体幹部の抑制」「d. 四肢の抑制」「e. 起き上がれない椅子」のすべてに「0. 使用しなかった」と回答

平成 20 年度調査：「a. 四肢の抑制」「b. 体幹部の抑制」「c. ベッドを柵（サイドレール）で囲む」「d. 介護衣（つなぎ服）の着用」「e. 車いすや椅子から立ち上がれないようにする（抑制のための腰ベルトや立ち上がれない椅子の使用）」「f. ミトンの使用（手指の機能抑制）」「g. 居室等への隔離（患者の意思による出入りの制限）」のすべてに「0. 実施しなかった」と回答

■リハビリテーションの実施(複数回答) [図表33]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
a. 心大血管疾患リハビリテーション(I)	1	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	2	0.1%
b. 心大血管疾患リハビリテーション(II)	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%	2	0.1%
c. 脳血管疾患等リハビリテーション(I)	230	46.4%	546	56.8%	265	55.3%	1,041	53.8%
d. 脳血管疾患等リハビリテーション(II)	19	3.8%	48	5.0%	28	5.8%	95	4.9%
e. 脳血管疾患等リハビリテーション(III)	4	0.8%	6	0.6%	1	0.2%	11	0.6%
f. 運動器リハビリテーション(I)	120	24.2%	139	14.5%	61	12.7%	320	16.5%
g. 運動器リハビリテーション(II)	11	2.2%	7	0.7%	2	0.4%	20	1.0%
h. 呼吸器リハビリテーション(I)	2	0.4%	20	2.1%	17	3.5%	39	2.0%
i. 呼吸器リハビリテーション(II)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
j. 摂食機能療法	41	8.3%	128	13.3%	61	12.7%	230	11.9%
k. 集団コミュニケーション療法	14	2.8%	3	0.3%	0	0.0%	17	0.9%
無回答	115	23.2%	211	22.0%	113	23.6%	439	22.7%

※リハビリテーションの体系が変更されているため、割合の増減に関する比較無し

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
a. 心大血管疾患リハビリテーション(I)	2	0.3%	8	0.6%	1	0.2%	11	0.4%
b. 心大血管疾患リハビリテーション(II)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
c. 脳血管疾患等リハビリテーション(I)	233	30.2%	407	32.7%	117	22.0%	757	29.7%
d. 脳血管疾患等リハビリテーション(II)	89	11.5%	133	10.7%	54	10.2%	276	10.8%
e. 運動器リハビリテーション(I)	58	7.5%	89	7.2%	25	4.7%	172	6.8%
f. 運動器リハビリテーション(II)	22	2.9%	16	1.3%	3	0.6%	41	1.6%
g. 呼吸器リハビリテーション(I)	3	0.4%	24	1.9%	24	4.5%	51	2.0%
h. 呼吸器リハビリテーション(II)	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.0%
無回答	370	48.0%	574	46.2%	315	59.2%	1,259	49.5%

■処置・治療 身体抑制 [図表34]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=496)		医療区分2 (n=961)		医療区分3 (n=479)		全 体 (n=1,936)	
身体抑制をした	94	19.0%	248	25.8%	121	25.3%	463	23.9% ↑
身体抑制をしなかった	383	77.2%	694	72.2%	355	74.1%	1,432	74.0%
無回答	19	3.8%	19	2.0%	3	0.6%	41	2.1%
全 体	496	100.0%	961	100.0%	479	100.0%	1,936	100.0%

(注)平成20年度集計表の、↑は平成18年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成18年度調査							
	医療区分1 (n=771)		医療区分2 (n=1,243)		医療区分3 (n=532)		回答計 (n=2,546)	
身体抑制をした	131	17.0%	286	23.0%	109	20.5%	526	20.7%
身体抑制をしなかった	605	78.5%	914	73.5%	401	75.4%	1,920	75.4%
無回答	35	4.5%	43	3.5%	22	4.1%	100	3.9%
全 体	771	100.0%	1,243	100.0%	532	100.0%	2,546	100.0%

※「身体抑制をした」の定義は下記のとおり。

平成18年度調査:「a. すべてにベッド柵」「c. 体幹部の抑制」「d. 四肢の抑制」「e. 起き上がれない椅子」のいずれかに「1. 毎日使用しなかった」または「2. 毎日使用した」と回答

平成20年度調査:「a. 四肢の抑制」「b. 体幹部の抑制」「c. ベッドを柵(サイドレール)で囲む」「d. 介護衣(つなぎ服)の着用」「e. 車いすや椅子から立ち上がれないようにする(抑制のための腰ベルトや立ち上がれない椅子の使用)」「f. ミトンの使用(手指の機能抑制)」「g. 居室等への隔離(患者の意思による出入りの制限)」のいずれかに「1. 毎日実施しなかった」または「2. 毎日実施した」と回答

「身体抑制をしなかった」の定義は下記のとおり。

平成18年度調査:「a. すべてにベッド柵」「c. 体幹部の抑制」「d. 四肢の抑制」「e. 起き上がれない椅子」のすべてに「0. 使用しなかった」と回答

平成20年度調査:「a. 四肢の抑制」「b. 体幹部の抑制」「c. ベッドを柵(サイドレール)で囲む」「d. 介護衣(つなぎ服)の着用」「e. 車いすや椅子から立ち上がれないようにする(抑制のための腰ベルトや立ち上がれない椅子の使用)」「f. ミトンの使用(手指の機能抑制)」「g. 居室等への隔離(患者の意思による出入りの制限)」のすべてに「0. 実施しなかった」と回答

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
《療養病棟におけるケアの質の評価
(患者特性調査における Quality Indicator の試行)

集計対象 (施設) : 平成 20 年度調査および平成 18 年度調査における共通の病院 (25 病院)

(患者) : 平成 20 年度・18 年度調査ともに療養病棟入院基本料を算定している患者 (入院後 14 日以内の患者を除く)

(注) 今回用いた Q I は、わが国の急性期以外の医療保険病棟のケアの質の評価について試行的に行われた Q I の定義¹に準拠

1 QI の変化

[図表35]

■平成20年度患者特性調査 QI 算出結果

QI項目	平成 20 年度患者特性調査 QI 算出結果									
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	外れ値病院数
痛み	25	2,047	4.3%	3.7%	0.0%	15.2%	2.7%	5.2%	11.7%	2
褥瘡ハイリスク	25	432	13.0%	7.7%	0.0%	31.4%	8.7%	16.4%	28.5%	1
褥瘡ローリスク	24	1,615	2.7%	5.7%	0.0%	25.0%	0.0%	2.6%	14.1%	1
身体抑制	25	2,047	19.6%	24.1%	0.0%	100.0%	2.5%	24.0%	67.8%	2
留置カテーテル	25	2,047	14.6%	9.6%	3.0%	35.3%	6.8%	20.2%	33.7%	2
尿路感染	25	2,047	11.2%	14.4%	0.0%	60.3%	1.7%	14.8%	40.1%	2
ADLの低下①	24	1,649	7.5%	6.1%	0.0%	24.7%	2.0%	10.0%	19.7%	1
ADLの低下②	22	253	10.7%	11.0%	0.0%	33.3%	0.0%	13.4%	32.7%	2

■平成18年度患者特性調査 QI 算出結果

QI項目	平成 18 年度患者特性調査 QI 算出結果									
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	外れ値病院数
痛み	25	2,244	7.7%	7.7%	0.0%	26.7%	2.6%	8.8%	23.1%	3
褥瘡ハイリスク	25	1,710	16.3%	7.8%	3.1%	28.6%	8.3%	23.0%	31.9%	0
褥瘡ローリスク	24	534	3.7%	6.1%	0.0%	25.0%	0.0%	5.0%	15.9%	1
身体抑制	25	2,244	24.7%	30.1%	0.0%	100.0%	1.0%	30.9%	84.8%	1
留置カテーテル	25	2,244	11.0%	8.0%	0.0%	27.4%	5.3%	15.6%	27.0%	1
尿路感染	25	2,244	8.3%	6.8%	0.0%	23.3%	3.4%	12.5%	22.0%	1
ADLの低下①	24	1,648	7.6%	7.1%	0.0%	28.1%	0.0%	9.6%	21.8%	2
ADLの低下②	22	468	12.8%	21.5%	0.0%	100.0%	0.0%	11.6%	55.9%	1

¹ 山田ゆかり 池上直己 (2005) MDS-QI (Minimum Data Set-Quality Indicators)による質の評価 ―急性期以外の医療保険病棟における試行― 病院管理 Vol42, No.4, pp13-23.

《 参 考 》

■QI の定義

項目名	分子	分母 (記載の無い場合は入院 14 日以内の 患者を除く全患者)	患者特性 ※備考 1
痛み	中程度の痛みが毎日ある か、耐え難い痛みがある		
褥瘡ハイリスク	I 度以上の褥瘡がある患 者数	寝返りか移乗の広範な障害、昏睡状態、栄 養障害のいずれかに該当する患者に限る	認知機能の 自立
褥瘡ローリスク	I 度以上の褥瘡がある患 者数	褥瘡ハイリスクに該当する患者を除外	
身体抑制	毎日身体抑制している ※備考 2		
留置カテーテル	留置カテーテルを挿入し ている ※備考 3		便失禁、褥 瘡
尿路感染症	尿路感染症である		
ADL の低下①	過去 90 日間における ADL 自立度の悪化	在院日数 90 日以上患者のうち、昏睡・ 末期・緩和ケアに該当する患者を除外	
ADL の低下②	入院時と比較しての ADL 自立度の悪化	在院日数 15 日以上 90 日未満の患者の うち、昏睡・末期・緩和ケアに該当する 患者を除外	

(備考)

1. 下記に記載のあるQ Iを算出するためには、前回アセスメントにおいて、下記に列挙した患者の状態によりリスクを調整する必要があるが、今回は一時点のアセスメントデータのみであったため、こうしたリスク調整を行っていない。
2. 身体抑制については、基準を変更しており、介護保険指定基準において禁止対象となる具体的な行為（「身体拘束ゼロへの手引き」厚生労働省 2001 年 3 月 7 日作成）に準じ、患者特性調査において、下記の項目のいずれかを「毎日使用した」場合に、「毎日身体抑制している」に該当するものとした。
 - A) すべてにベッド柵
 - B) 体幹部の抑制
 - C) 四肢の抑制
 - D) 起き上がれない椅子
3. 患者特性調査において把握可能な「膀胱留置カテーテルの使用」の有無で算出した。

平成 20 年度

慢性期入院医療の包括評価に関する調査 集計結果

患者特性調査 (診療所)

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査 《患者特性調査(診療所)集計結果》

平成20年度調査集計対象：平成20年度調査対象診療所（96施設）で療養病床入院基本料を算定している患者
（注）本集計における「医療区分」は、患者調査票の回答に基づくものであるため診療報酬上の医療区分と一致しない場合がある。

1 医療区分・ADL区分の状況

■医療区分・ADL区分 [図表1]

	平成20年度調査				平成18年度調査 H18年度有床診療所患者分類分布調査 2006年9月 末日、10月末日、11月末日の計(診療所数109施設)			
	医療区分1 (n=342)	医療区分2 (n=381)	医療区分3 (n=51)	合 計 (n=774)	医療区分1 (n=1,247)	医療区分2 (n=885)	医療区分3 (n=78)	合 計 (n=2,210)
ADL区分3	5.7%	14.5%	3.6%	23.8%	9.9%	27.7%	3.5%	-
ADL区分2	8.9%	14.2%	1.0%	24.2%	46.6%			
ADL区分1	29.6%	20.5%	1.9%	52.1%		12.3%		
全 体	44.2%	49.2%	6.6%	100.0%	56.4%	40.0%	3.5%	100.0%
無回答(n)	(19)	(4)	(0)	(23)	(0)	(0)	(0)	(0)

2 医療区分採用項目の該当状況

■医療区分採用項目 [図表2]

	平成20年度調査			
	医療区分1 (n=361)	医療区分2 (n=385)	医療区分3 (n=51)	合 計 (n=797)
1. 24時間持続して点滴を実施	0.0%	0.0%	19.6%	1.3%
2. 尿路感染症に対する治療	0.0%	7.3%	9.8%	4.1%
3. 傷病等によりリハビリテーションを必要とする状態	0.0%	8.1%	5.9%	4.3%
4. 脱水に対する治療	0.0%	7.0%	9.8%	4.0%
(4. 脱水に対する治療[×発熱])	0.0%	2.1%	5.9%	1.4%
(4. 脱水に対する治療[×発熱38度以上])	0.0%	1.0%	2.0%	0.6%
5. 消化管等の体内から出血が反復継続している状態	0.0%	1.8%	11.8%	1.6%
6. 頻回の嘔吐に対する治療	0.0%	1.0%	2.0%	0.6%
(6. 頻回の嘔吐に対する治療[×発熱])	0.0%	0.0%	2.0%	0.1%
(6. 頻回の嘔吐に対する治療[×発熱38度以上])	0.0%	0.0%	2.0%	0.1%
7. せん妄に対する治療	0.0%	5.2%	3.9%	2.8%
8. 経鼻胃管・胃瘻等の経腸栄養が行われ、発熱又は嘔吐を伴う状態	0.0%	2.6%	7.8%	1.8%
9. 頻回の血糖検査を実施(1日3回以上)	0.0%	7.8%	9.8%	4.4%
10. スモンに罹患	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 医師及び看護師により、常時、監視・管理を実施	0.0%	0.0%	5.9%	0.4%
13. 中心静脈栄養を実施	0.0%	0.0%	5.9%	0.4%
14. 人工呼吸器を使用	0.0%	0.0%	5.9%	0.4%
15. ドレーン法・胸腔の洗浄	0.0%	0.0%	5.9%	0.4%
16. 気管切開・気管内挿管の実施が行われ、発熱を伴う状態	0.0%	0.0%	5.9%	0.4%
(16. 気管切開・気管内挿管の実施[×発熱38度以上])	0.0%	0.0%	2.0%	0.1%
17. 酸素療法の実施	0.0%	0.0%	64.7%	4.1%
18. 感染隔離室での管理を実施	0.0%	0.0%	13.7%	0.9%
19・21筋ジストロフィー症・筋萎縮性側索硬化症に罹患	0.0%	1.6%	0.0%	0.8%
20. 多発性硬化症に罹患	0.0%	0.5%	0.0%	0.3%
22. パーキンソン病関連疾患に罹患	0.0%	8.8%	2.0%	4.4%
23. その他の難病に罹患	0.0%	0.8%	2.0%	0.5%
24. 脊髄損傷(頸椎損傷を原因とする麻痺が四肢すべてに認められる)	0.0%	0.5%	0.0%	0.3%
25. 慢性閉塞性肺疾患(ヒュー・ジョーンズの分類がⅤ度以上)	0.0%	0.8%	2.0%	0.5%
26. 透析を実施	0.0%	20.8%	11.8%	10.8%
29. 悪性腫瘍(疼痛コントロールが必要な場合に限る)	0.0%	1.0%	2.0%	0.6%
30. 肺炎に対する治療	0.0%	7.5%	19.6%	4.9%
31. 褥瘡に対する治療(2度以上または2箇所以上)	0.0%	11.7%	21.6%	7.0%
32. 末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療	0.0%	3.1%	2.0%	1.6%
33. うつ症状に対する治療	0.0%	25.2%	15.7%	13.2%
34. 他者に対する暴行が毎日認められる状態	0.0%	3.1%	0.0%	1.5%
35. 1日8回以上の喀痰吸引を実施	0.0%	6.2%	23.5%	4.5%
36. 気管切開・気管内挿管の実施(発熱を伴う場合を除く)	0.0%	2.6%	13.7%	2.1%
37. 創傷、皮膚潰瘍、下腿、足部の蜂巣炎、膿等の感染症に対する治療	0.0%	18.7%	27.5%	10.8%

3 入退院の状況

■調査病床に入院する前の状況 [図表3]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	170	47.1%	137	35.6%	15	29.4%	322	40.4%
2. 有料老人ホーム等	8	2.2%	6	1.6%	0	0.0%	14	1.8%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	6	1.7%	5	1.3%	3	5.9%	14	1.8%
4. 介護老人保健施設	7	1.9%	6	1.6%	0	0.0%	13	1.6%
5. 他の医療機関	115	31.9%	173	44.9%	24	47.1%	312	39.1%
(再掲)他の医療機関の一般病床	109	30.2%	152	39.5%	23	45.1%	284	35.6%
(再掲)他の医療機関の療養病床	4	1.1%	15	3.9%	1	2.0%	20	2.5%
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	2	0.6%	6	1.6%	0	0.0%	8	1.0%
6. 自院の他の病床	42	11.6%	44	11.4%	7	13.7%	93	11.7%
(再掲)自院の一般病床	39	10.8%	37	9.6%	7	13.7%	83	10.4%
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等)	3	0.8%	7	1.8%	0	0.0%	10	1.3%
無回答	13	3.6%	14	3.6%	2	3.9%	29	3.6%
全 体	361	100.0%	385	100.0%	51	100.0%	797	100.0%

■調査病床に入院した背景(複数回答) [図表4]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
疾病の急性期状態が安定したため	88	24.4%	150	39.0%	24	47.1%	262	32.9%
疾病の急性増悪	63	17.5%	54	14.0%	11	21.6%	128	16.1%
継続的な高度の医療管理が必要	17	4.7%	46	11.9%	12	23.5%	75	9.4%
継続的なリハビリが必要	103	28.5%	122	31.7%	10	19.6%	235	29.5%
他施設の空きがない	42	11.6%	39	10.1%	3	5.9%	84	10.5%
介護老人保健施設でも対応できるが、空きがないため	26	7.2%	27	7.0%	3	5.9%	56	7.0%
介護老人福祉施設(特養)でも対応できるが、空きがないため	28	7.8%	26	6.8%	3	5.9%	57	7.2%
在宅療養でも対応できるが、家族の受け入れ体制が整わないため	99	27.4%	99	25.7%	5	9.8%	203	25.5%
本人、家族等が希望するため	241	66.8%	272	70.6%	28	54.9%	541	67.9%
疾病の急性発症<新規>	59	16.3%	53	13.8%	6	11.8%	118	14.8%
その他	6	1.7%	7	1.8%	4	7.8%	17	2.1%

■退院の見通し [図表5]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
治癒または軽快して30日以内に退院できる見通し	67	18.6%	48	12.5%	7	13.7%	122	15.3%
治癒または軽快して90日以内に退院できる見通し	36	10.0%	29	7.5%	3	5.9%	68	8.5%
治癒または軽快して90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	88	24.4%	76	19.7%	7	13.7%	171	21.5%
治癒または軽快する見込みはなく、転院・転床・死亡する見通し	31	8.6%	49	12.7%	12	23.5%	92	11.5%
退院(転院・転床含む)の見通しはない	136	37.7%	176	45.7%	22	43.1%	334	41.9%
無回答	3	0.8%	7	1.8%	0	0.0%	10	1.3%
全 体	361	100.0%	385	100.0%	51	100.0%	797	100.0%

■退院先の見通し(再掲) [図表6]

(退院の見通しで「90日以内に退院できる見通し」の回答者)

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=103)		医療区分2 (n=77)		医療区分3 (n=10)		全 体 (n=190)	
1. 自宅(家族との同居を含む)	80	77.7%	65	84.4%	10	100.0%	155	81.6%
2. 有料老人ホーム等	3	2.9%	3	3.9%	0	0.0%	6	3.2%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	2	1.9%	1	1.3%	0	0.0%	3	1.6%
4. 介護老人保健施設	12	11.7%	5	6.5%	0	0.0%	17	8.9%
5. 他の医療機関の一般病床	1	1.0%	1	1.3%	0	0.0%	2	1.1%
6. 他の医療機関の療養病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8. 自院の一般病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9. 自院の介護療養病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10. その他	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.5%
無回答	5	4.9%	1	1.3%	0	0.0%	6	3.2%
全 体	103	100.0%	77	100.0%	10	100.0%	190	100.0%

※「治癒または軽快して30日以内に退院できる見通し」と「治癒または軽快して90日以内に退院できる見通し」を合わせた患者数

■退院先の見通し(再掲) [図表7]

(退院の見通しで「今後受け皿が整備されれば退院できる」の回答者)

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=88)		医療区分2 (n=76)		医療区分3 (n=7)		全 体 (n=171)	
1. 自宅(家族との同居を含む)	35	39.8%	28	36.8%	2	28.6%	65	38.0%
2. 有料老人ホーム等	4	4.5%	4	5.3%	0	0.0%	8	4.7%
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	17	19.3%	19	25.0%	3	42.9%	39	22.8%
4. 介護老人保健施設	20	22.7%	14	18.4%	1	14.3%	35	20.5%
5. 他の医療機関の一般病床	1	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	2	1.2%
6. 他の医療機関の療養病床	2	2.3%	2	2.6%	0	0.0%	4	2.3%
7. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8. 自院の一般病床	4	4.5%	1	1.3%	0	0.0%	5	2.9%
9. 自院の介護療養病床	2	2.3%	2	2.6%	0	0.0%	4	2.3%
10. その他	1	1.1%	5	6.6%	1	14.3%	7	4.1%
無回答	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%
全 体	88	100.0%	76	100.0%	7	100.0%	171	100.0%

4 その他の患者状態像(医療区分採用項目以外)

■疾患(複数回答) [図表8]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
糖尿病	39	10.8%	92	23.9%	10	19.6%	141	17.7%
不整脈	23	6.4%	29	7.5%	5	9.8%	57	7.2%
急性心不全	2	0.6%	2	0.5%	1	2.0%	5	0.6%
慢性心不全	33	9.1%	26	6.8%	10	19.6%	69	8.7%
高血圧症	143	39.6%	144	37.4%	14	27.5%	301	37.8%
虚血性心疾患	39	10.8%	39	10.1%	7	13.7%	85	10.7%
脊髄損傷	0	0.0%	6	1.6%	0	0.0%	6	0.8%
大腿骨頸部骨折	24	6.6%	22	5.7%	5	9.8%	51	6.4%
脊椎圧迫骨折	33	9.1%	32	8.3%	1	2.0%	66	8.3%
その他の骨折	19	5.3%	26	6.8%	1	2.0%	46	5.8%
関節リウマチ	15	4.2%	9	2.3%	1	2.0%	25	3.1%
アルツハイマー病	26	7.2%	43	11.2%	3	5.9%	72	9.0%
アルツハイマー病以外の認知症	33	9.1%	66	17.1%	7	13.7%	106	13.3%
失語症	13	3.6%	17	4.4%	5	9.8%	35	4.4%
脳性麻痺	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
脳梗塞	70	19.4%	91	23.6%	17	33.3%	178	22.3%
脳出血	10	2.8%	26	6.8%	3	5.9%	39	4.9%
片側不全麻痺	26	7.2%	35	9.1%	3	5.9%	64	8.0%
四肢麻痺	8	2.2%	19	4.9%	7	13.7%	34	4.3%
仮性球麻痺	2	0.6%	4	1.0%	0	0.0%	6	0.8%
気管支喘息	13	3.6%	9	2.3%	2	3.9%	24	3.0%
腸閉塞(イレウス)	3	0.8%	3	0.8%	0	0.0%	6	0.8%
肝不全	4	1.1%	2	0.5%	0	0.0%	6	0.8%
がん(悪性腫瘍)	16	4.4%	20	5.2%	8	15.7%	44	5.5%
腎不全	14	3.9%	86	22.3%	7	13.7%	107	13.4%

■感染症(複数回答) [図表9]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	1	0.3%	5	1.3%	8	15.7%	14	1.8%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ウイルス性肝炎	6	1.7%	9	2.3%	1	2.0%	16	2.0%
上気道感染	2	0.6%	2	0.5%	2	3.9%	6	0.8%
敗血症	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.1%
結核	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%
インフルエンザ<新規>	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
胃腸炎<新規>	3	0.8%	8	2.1%	1	2.0%	12	1.5%
髄膜炎<新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■問題状況(複数回答) [図表10]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
脱水	0	0.0%	27	7.0%	5	9.8%	32	4.0%
妄想	10	2.8%	25	6.5%	5	9.8%	40	5.0%
発熱	5	1.4%	28	7.3%	13	25.5%	46	5.8%
幻覚	7	1.9%	26	6.8%	3	5.9%	36	4.5%
嘔吐	1	0.3%	12	3.1%	3	5.9%	16	2.0%
胸水	1	0.3%	4	1.0%	5	9.8%	10	1.3%
腹水	0	0.0%	3	0.8%	3	5.9%	6	0.8%
消化管の通過障害(癌を伴う)	0	0.0%	4	1.0%	2	3.9%	6	0.8%
消化管等の体内出血<新規>	0	0.0%	7	1.8%	6	11.8%	13	1.6%
貧血<新規>	18	5.0%	61	15.8%	12	23.5%	91	11.4%
めまい<新規>	12	3.3%	22	5.7%	2	3.9%	36	4.5%
便秘<新規>	58	16.1%	143	37.1%	12	23.5%	213	26.7%
尿、便失禁<新規>	73	20.2%	132	34.3%	32	62.7%	237	29.7%

■処置・治療(複数回答) [図表11]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
抗がん剤療法	0	0.0%	1	0.3%	1	2.0%	2	0.3%
胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処置	5	1.4%	27	7.0%	10	19.6%	42	5.3%
放射線治療	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.1%
吸引(1日1～7回)	6	1.7%	20	5.2%	8	15.7%	34	4.3%
輸血	1	0.3%	1	0.3%	1	2.0%	3	0.4%
緩和ケア	0	0.0%	4	1.0%	2	3.9%	6	0.8%
疼痛コントロール	24	6.6%	16	4.2%	2	3.9%	42	5.3%
膀胱留置カテーテル	9	2.5%	29	7.5%	12	23.5%	50	6.3%
血糖チェック(週1回～1日2回)	16	4.4%	24	6.2%	10	19.6%	50	6.3%
インスリン皮下注射	5	1.4%	26	6.8%	8	15.7%	39	4.9%

■状態の安定性(複数回答) [図表12]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
個室における管理が必要	7	1.9%	19	4.9%	7	13.7%	33	4.1%
急性症状が発生したり再発性や慢性的の問題が再燃した	1	0.3%	4	1.0%	2	3.9%	7	0.9%
末期の疾患であり、余命が6ヵ月以下である	3	0.8%	13	3.4%	4	7.8%	20	2.5%
床上安静の指示あり<新規>	16	4.4%	16	4.2%	1	2.0%	33	4.1%

■栄養摂取の方法(複数回答) [図表13]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%	3	0.4%
末梢静脈栄養	2	0.6%	12	3.1%	8	15.7%	22	2.8%
経管栄養(経鼻等、胃瘻)	28	7.8%	62	16.1%	18	35.3%	108	13.6%
経管栄養(経鼻等《胃瘻を除く》)	15	4.2%	23	6.0%	6	11.8%	44	5.5%
経管栄養(胃瘻)	13	3.6%	39	10.1%	12	23.5%	64	8.0%
いずれか1つ以上該当	30	8.3%	72	18.7%	28	54.9%	130	16.3%

■リハビリテーションを要す状態 過去3日間における必要性 [図表14]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
特にリハビリテーションは必要ではない	183	50.7%	156	40.5%	34	66.7%	373	46.8%
維持的リハビリテーションが必要な状態	104	28.8%	158	41.0%	12	23.5%	274	34.4%
積極的リハビリテーションが必要な状態	39	10.8%	41	10.6%	2	3.9%	82	10.3%
無回答	35	9.7%	30	7.8%	3	5.9%	68	8.5%
全 体	361	100.0%	385	100.0%	51	100.0%	797	100.0%

■リハビリテーションを要す状態(再掲) [図表15]

“必要な状態”の場合、発症してからの日数

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=143)		医療区分2 (n=199)		医療区分3 (n=14)		全 体 (n=356)	
14日以下	3	2.1%	12	6.0%	1	7.1%	16	4.5%
15日から30日以下	5	3.5%	24	12.1%	2	14.3%	31	8.7%
31日から90日以下	46	32.2%	18	9.0%	1	7.1%	65	18.3%
91日から180日以下	22	15.4%	21	10.6%	2	14.3%	45	12.6%
181日以上	64	44.8%	123	61.8%	8	57.1%	195	54.8%
無回答	3	2.1%	1	0.5%	0	0.0%	4	1.1%
全 体	143	100.0%	199	100.0%	14	100.0%	356	100.0%

■リハビリテーションの実施(複数回答) [図表16]

	平成20年度調査							
	医療区分1 (n=361)		医療区分2 (n=385)		医療区分3 (n=51)		全 体 (n=797)	
a. 心大血管疾患リハビリテーション(Ⅰ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
b. 心大血管疾患リハビリテーション(Ⅱ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
c. 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)	11	3.0%	6	1.6%	0	0.0%	17	2.1%
d. 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅱ)	3	0.8%	2	0.5%	0	0.0%	5	0.6%
e. 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅲ)	1	0.3%	6	1.6%	3	5.9%	10	1.3%
f. 運動器リハビリテーション(Ⅰ)	38	10.5%	49	12.7%	5	9.8%	92	11.5%
g. 運動器リハビリテーション(Ⅱ)	35	9.7%	27	7.0%	0	0.0%	62	7.8%
h. 呼吸器リハビリテーション(Ⅰ)	2	0.6%	1	0.3%	0	0.0%	3	0.4%
i. 呼吸器リハビリテーション(Ⅱ)	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
j. 摂食機能療法	2	0.6%	9	2.3%	1	2.0%	12	1.5%
k. 集団コミュニケーション療法	10	2.8%	16	4.2%	1	2.0%	27	3.4%
無回答	279	77.3%	286	74.3%	41	80.4%	606	76.0%

■処置・治療 身体抑制 [図表17]

	平成20年度調査							
	医療区分 1 (n=361)		医療区分 2 (n=385)		医療区分 3 (n=51)		全 体 (n=797)	
身体抑制をした	37	10.2%	99	25.7%	13	25.5%	149	18.7%
身体抑制をしなかった	305	84.5%	257	66.8%	36	70.6%	598	75.0%
無回答	361	100.0%	385	100.0%	51	100.0%	797	100.0%
全 体	496	100.0%	961	100.0%	479	100.0%	1,936	100.0%

※「身体抑制をした」の定義は下記のとおり。

「a. 四肢の抑制」「b. 体幹部の抑制」「c. ベッドを柵（サイドレール）で囲む」「d. 介護衣（つなぎ服）の着用」「e. 車いすや椅子から立ち上がれないようにする（抑制のための腰ベルトや立ち上がれない椅子の使用）」「f. ミトンの使用（手指の機能抑制）」「g. 居室等への隔離（患者の意思による出入りの制限）」のいずれかに「1. 毎日実施しなかった」または「2. 毎日実施した」と回答

「身体抑制をしなかった」の定義は下記のとおり。

「a. 四肢の抑制」「b. 体幹部の抑制」「c. ベッドを柵（サイドレール）で囲む」「d. 介護衣（つなぎ服）の着用」「e. 車いすや椅子から立ち上がれないようにする（抑制のための腰ベルトや立ち上がれない椅子の使用）」「f. ミトンの使用（手指の機能抑制）」「g. 居室等への隔離（患者の意思による出入りの制限）」のすべてに「0. 実施しなかった」と回答